

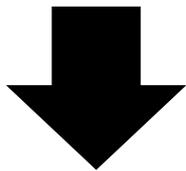
阪神・淡路大震災後のランドスケープ 再生に関する研究

緑地計画学
塩谷歩未

研究の背景および目的

研究の背景

阪神・淡路大震災の復興が終了したと言われている現在、被災地を震災前の成熟したまちなみへと再生させることが期待されている。



研究の目的

阪神・淡路大震災後の時間経過に伴うまちの変化を都市基盤と緑環境の2つの視点から捉え、被災地におけるランドスケープ再生の現状と今後の課題を探った。

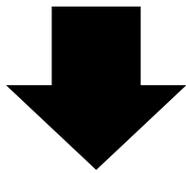


図 調査対象地区と復興関連事業

研究の背景および目的

研究の背景

阪神・淡路大震災の復興が終了したと言われている現在、被災地を震災前の成熟したまちなみへと再生させることが期待されている。



研究の目的

阪神・淡路大震災後の時間経過に伴うまちの変化を都市基盤と緑環境の2つの視点から捉え、被災地におけるランドスケープ再生の現状と今後の課題を探った。

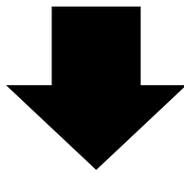


図 調査対象地区と復興関連事業

研究の背景および目的

研究の背景

阪神・淡路大震災の復興が終了したと言われている現在、被災地を震災前の成熟したまちなみへと再生させることが期待されている。



研究の目的

阪神・淡路大震災後の時間経過に伴うまちの変化を都市基盤と緑環境の2つの視点から捉え、被災地におけるランドスケープ再生の現状と今後の課題を探った。

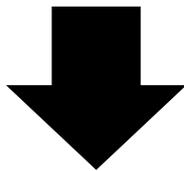


図 調査対象地区と復興関連事業

研究の背景および目的

研究の背景

阪神・淡路大震災の復興が終了したと言われている現在、被災地を震災前の成熟したまちなみへと再生させることが期待されている。



研究の目的

阪神・淡路大震災後の時間経過に伴うまちの変化を都市基盤と緑環境の2つの視点から捉え、被災地におけるランドスケープ再生の現状と今後の課題を探った。



図 調査対象地区と復興関連事業

<調査方法>

都市基盤の成熟度を人口動態、建物棟数、道路形態の3つの視点から捉えた。

人口動態

元データ

- ・国勢調査

調査対象時期

- ・震災前
- 震災直後
- 震災5年後
- 震災10年後
- 震災15年後

解析方法

- ・年齢層別割合
- 人口増減率

建物棟数

元データ

- ・住宅地図

調査対象時期

- ・震災前
- 震災直後
- 震災4年後
- 震災16年後

解析方法

- ・建物用途別割合
- 棟数増減率

道路形態

元データ

- ・1/2,500地形図

調査対象時期

- ・震災前
- 震災7年後
- 震災14年後

解析方法

- ・幅員別道路割合
- 道路延長増減率

第2章 人口動態

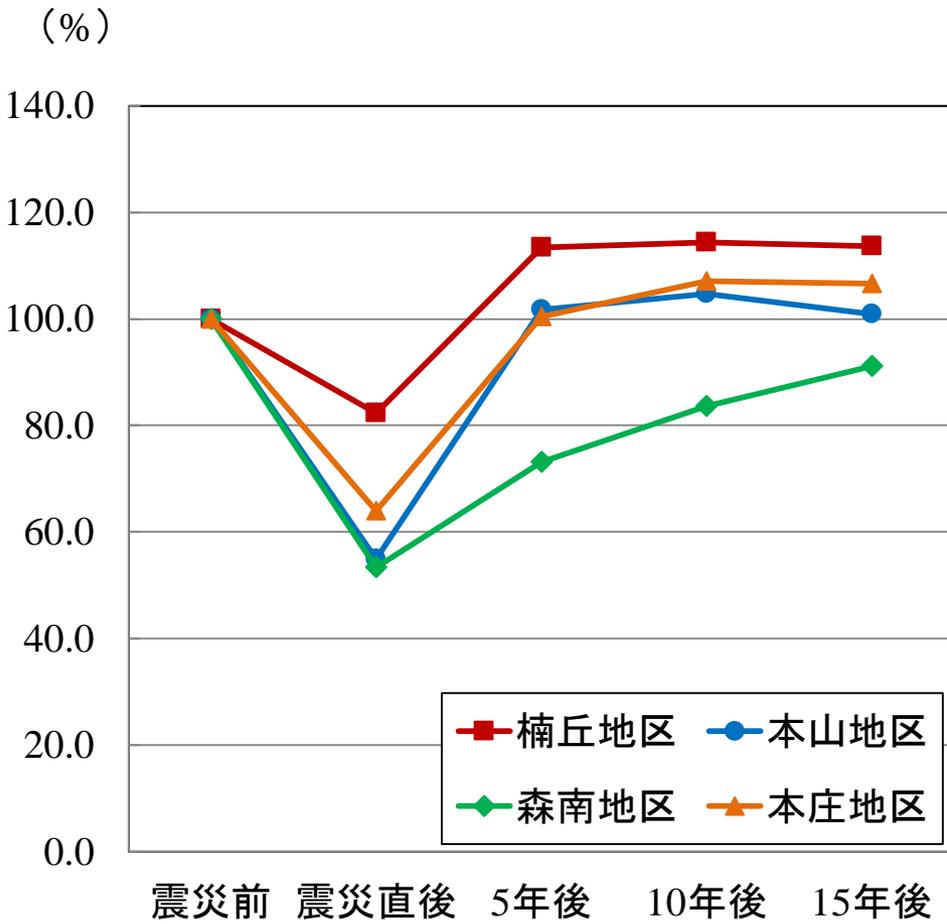


図 調査対象地区の人口増減率

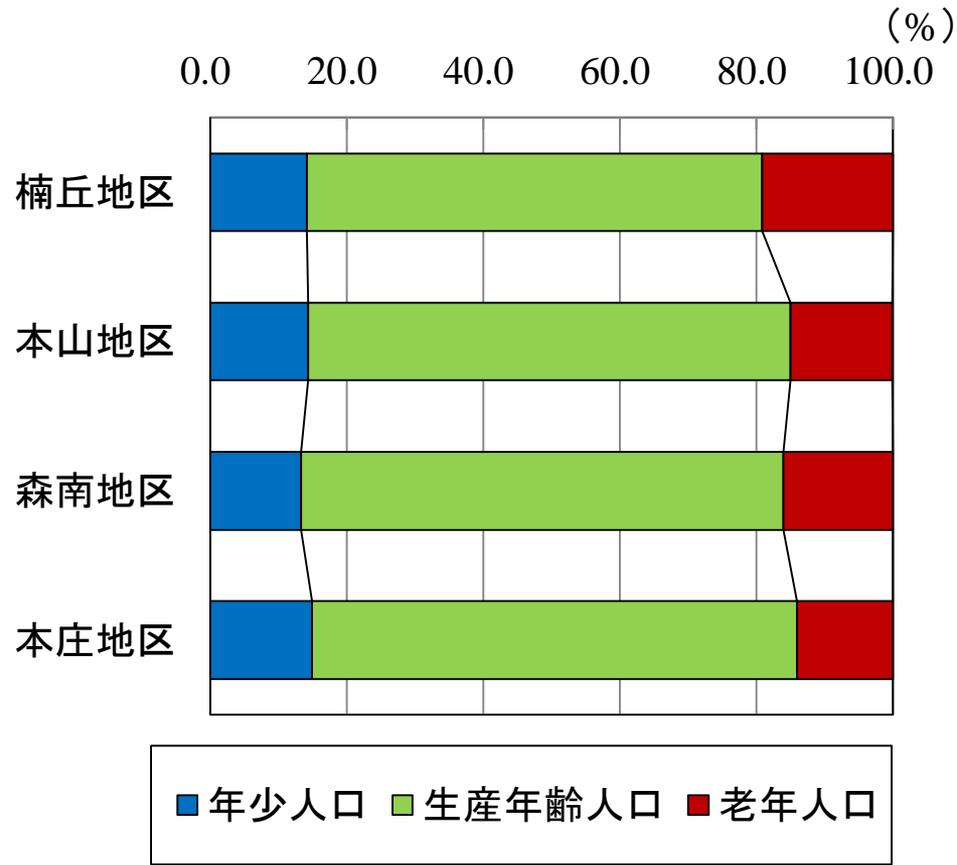


図 震災10年後の年齢層別割合

第2章 人口動態

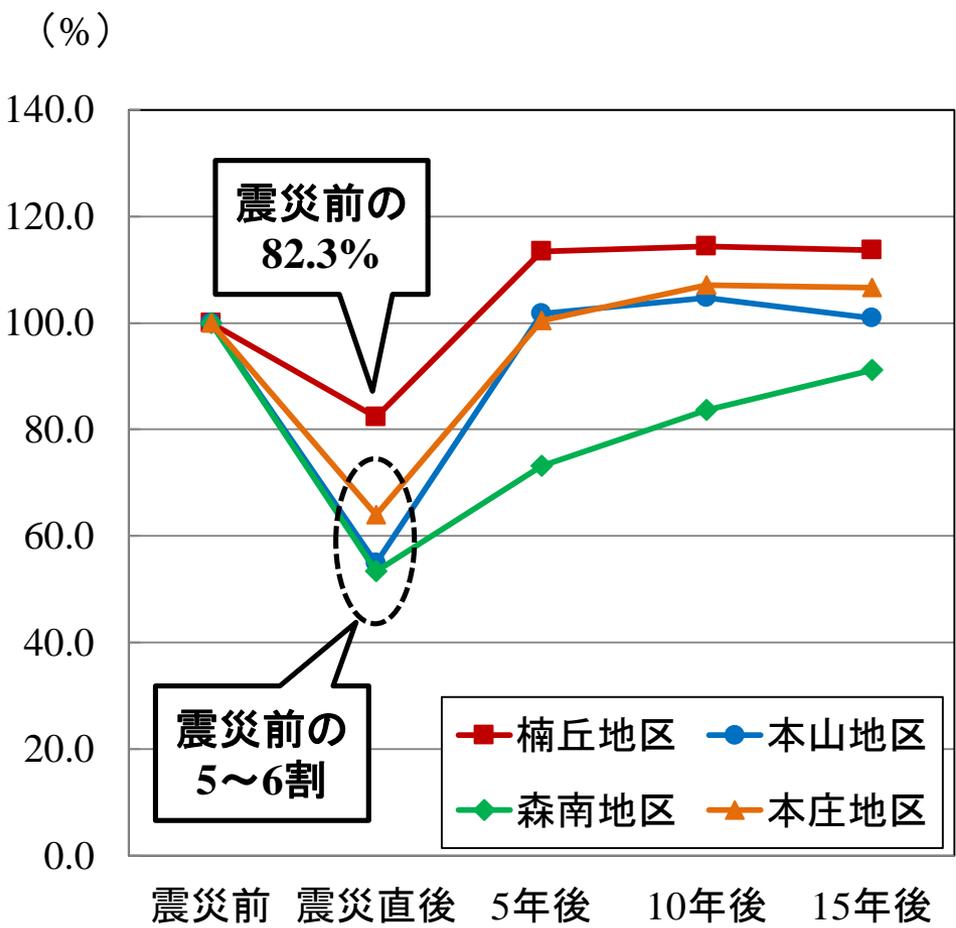


図 調査対象地区の人口増減率

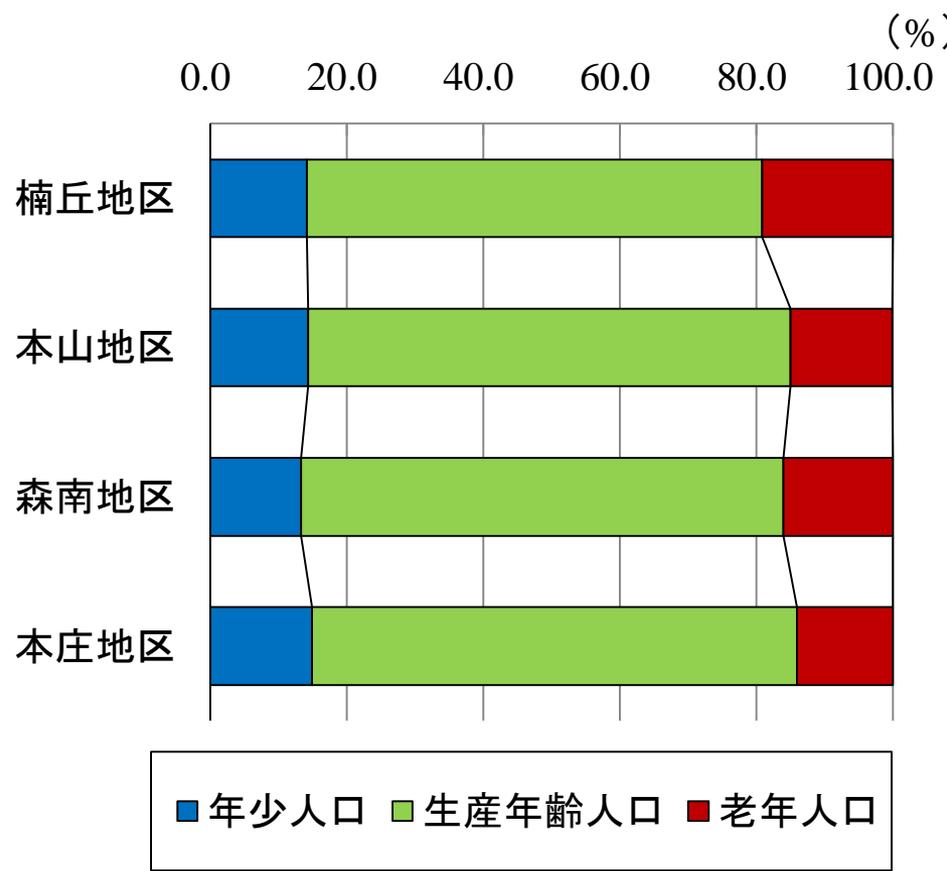


図 震災10年後の年齢層別割合

第2章 人口動態

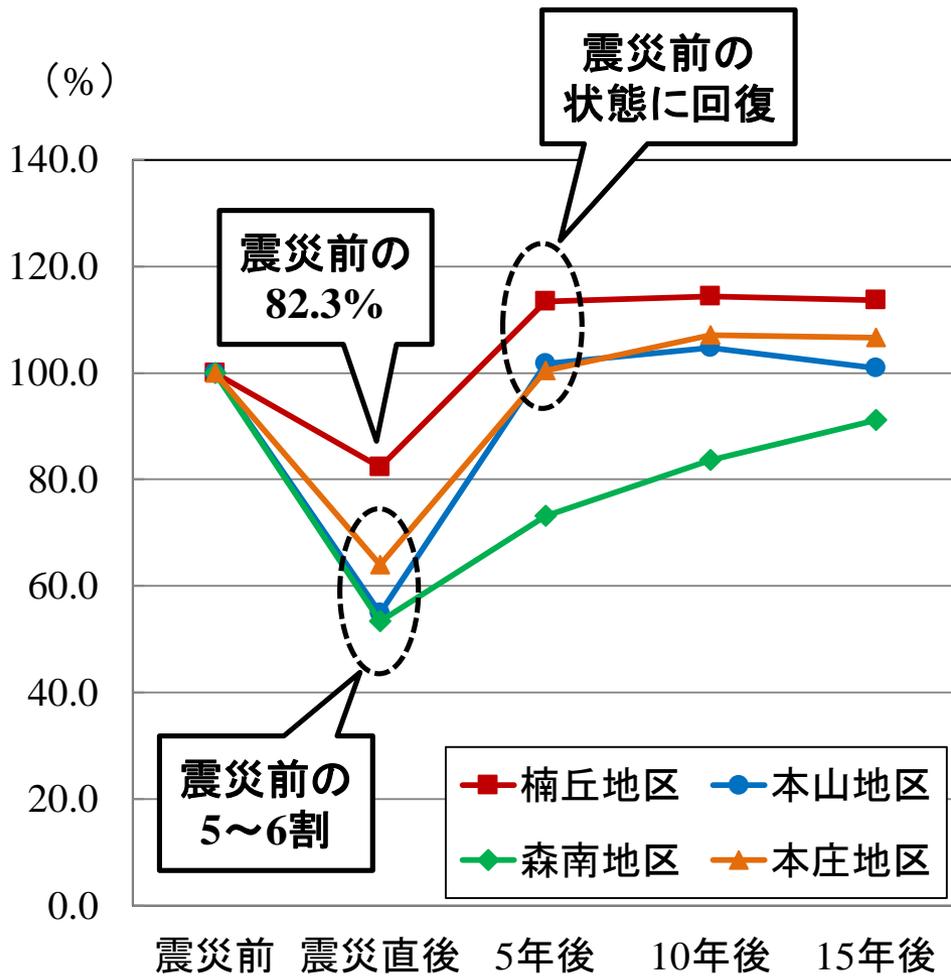


図 調査対象地区の人口増減率

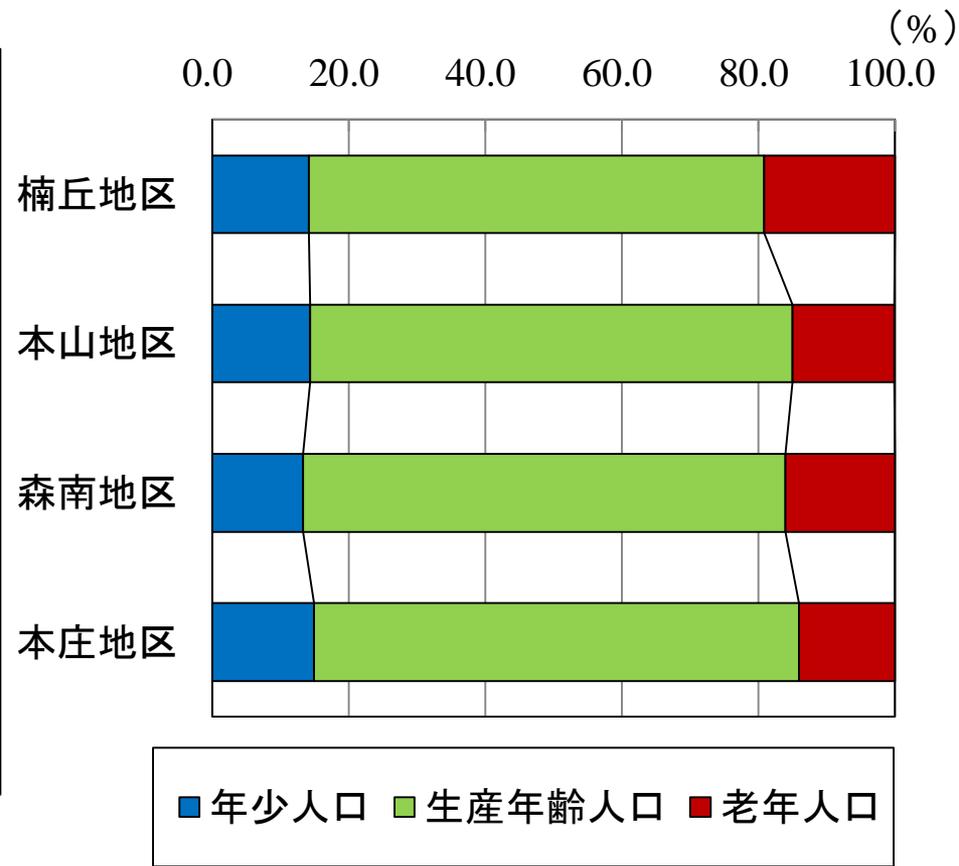


図 震災10年後の年齢層別割合

第2章 人口動態

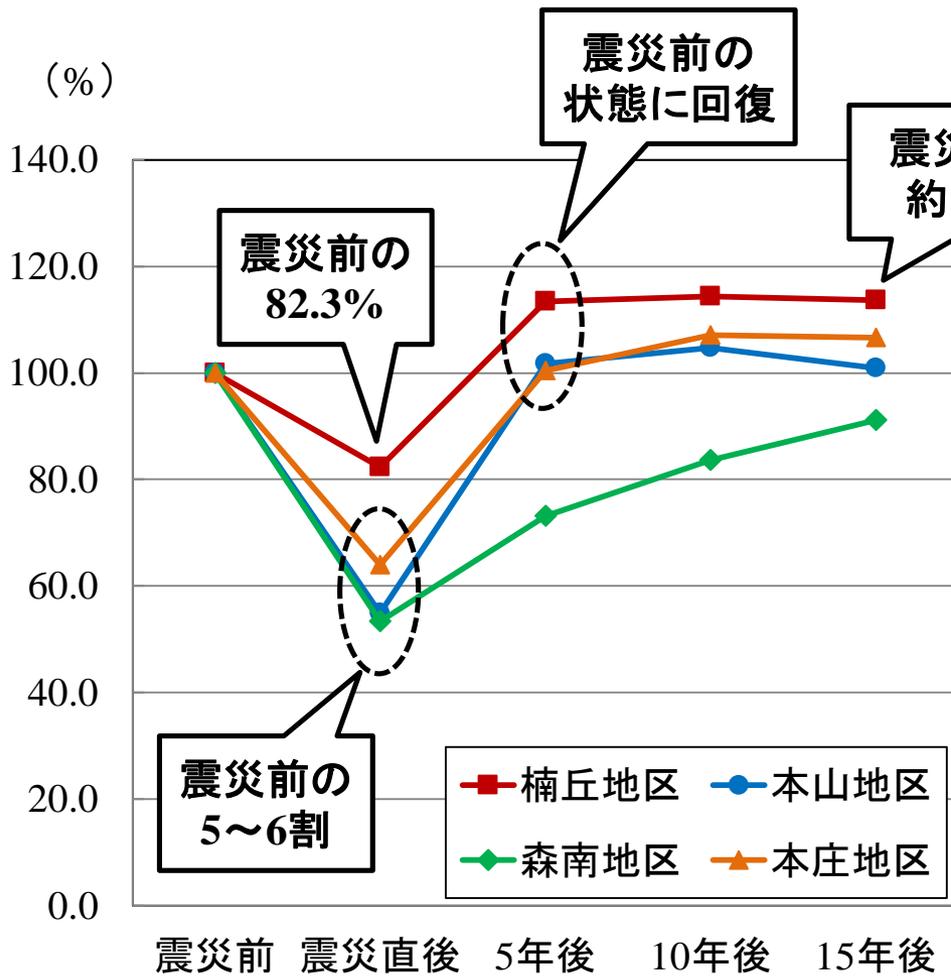


図 調査対象地区の人口増減率

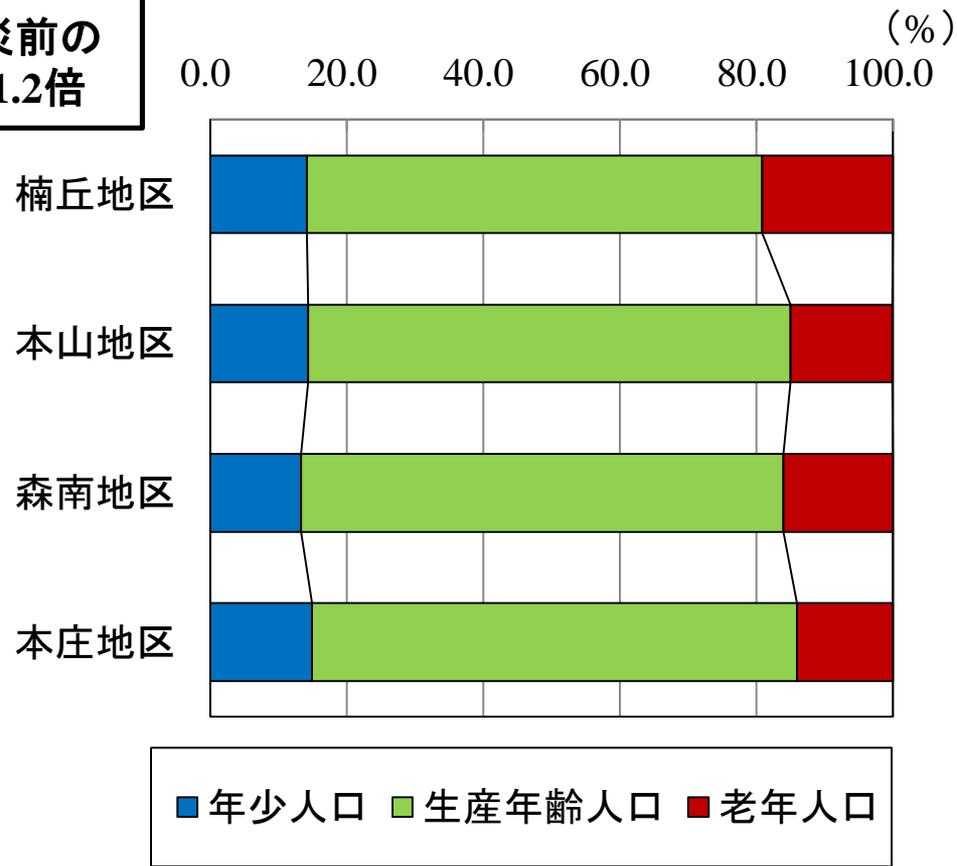


図 震災10年後の年齢層別割合

第2章 人口動態

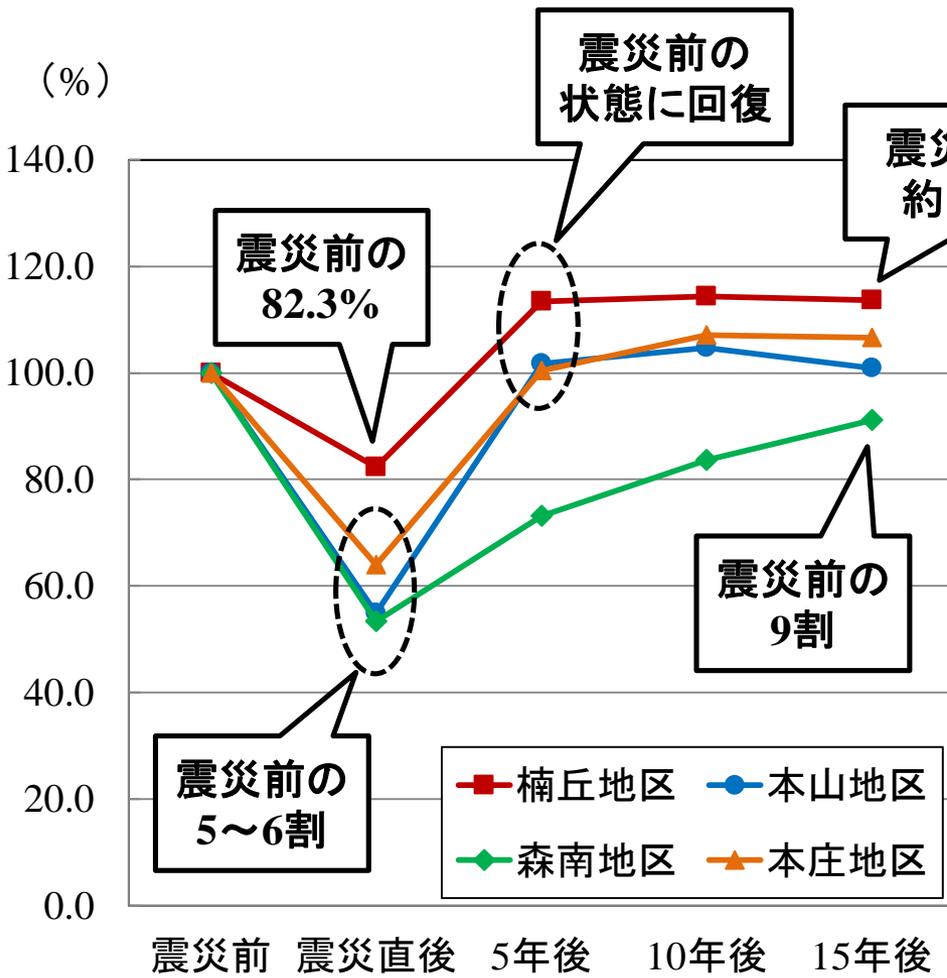


図 調査対象地区の人口増減率

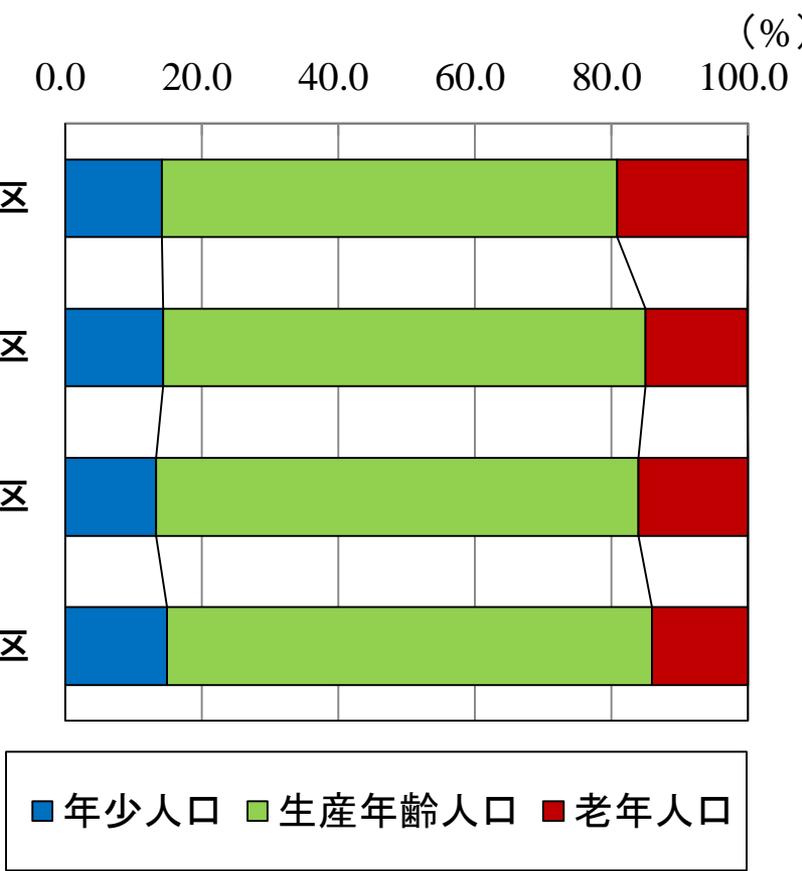


図 震災10年後の年齢層別割合

第2章 人口動態

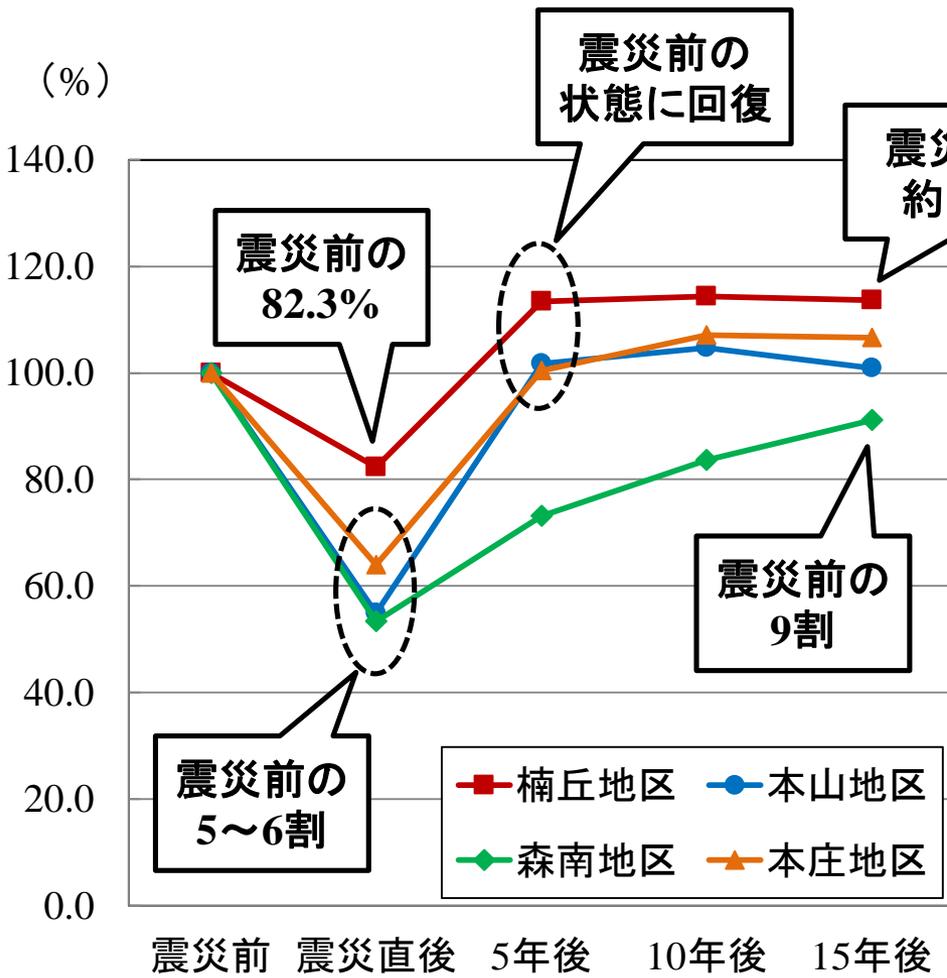


図 調査対象地区の人口増減率

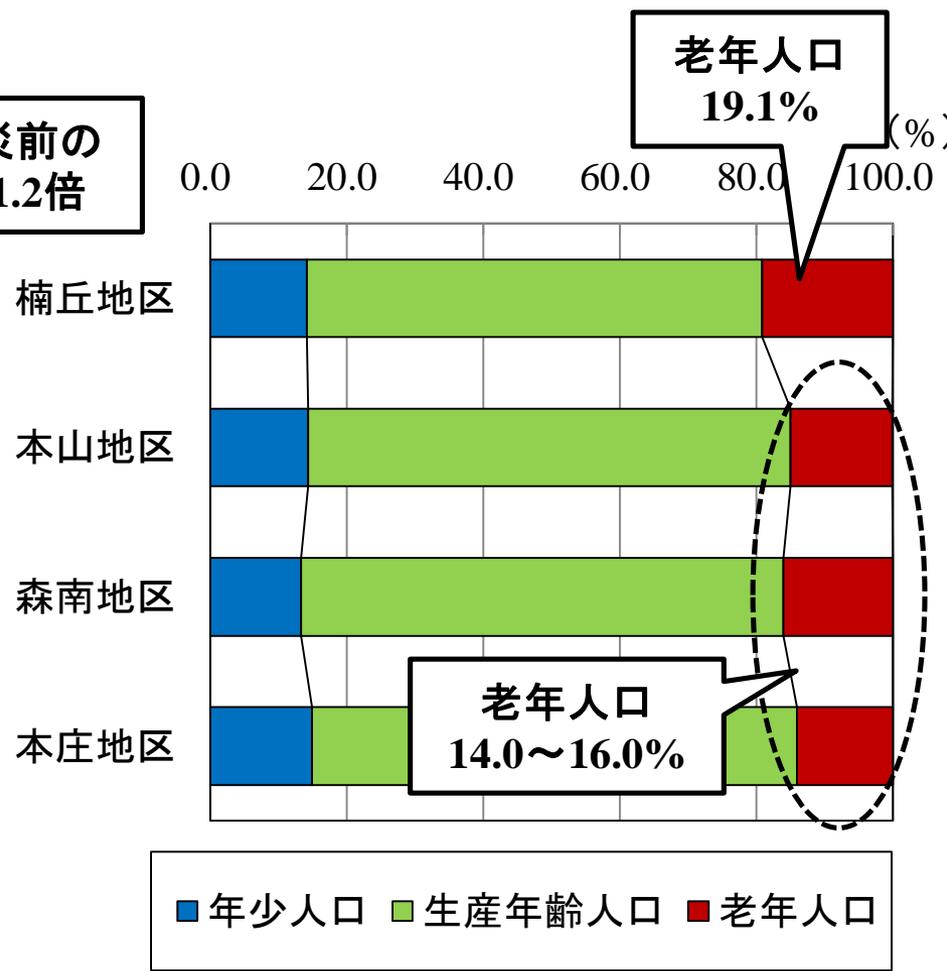


図 震災10年後の年齢層別割合

第2章 人口動態

大阪市の高齢化率(震災10年後)
20.1%

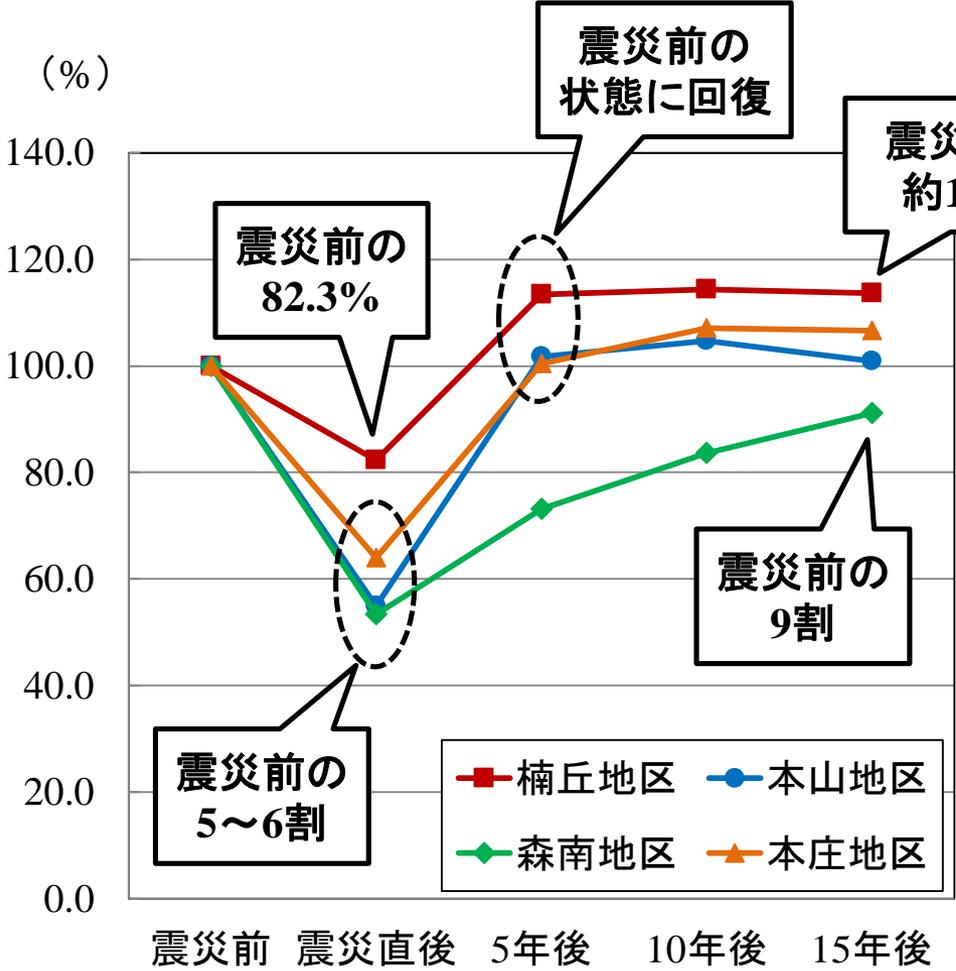


図 調査対象地区の人口増減率

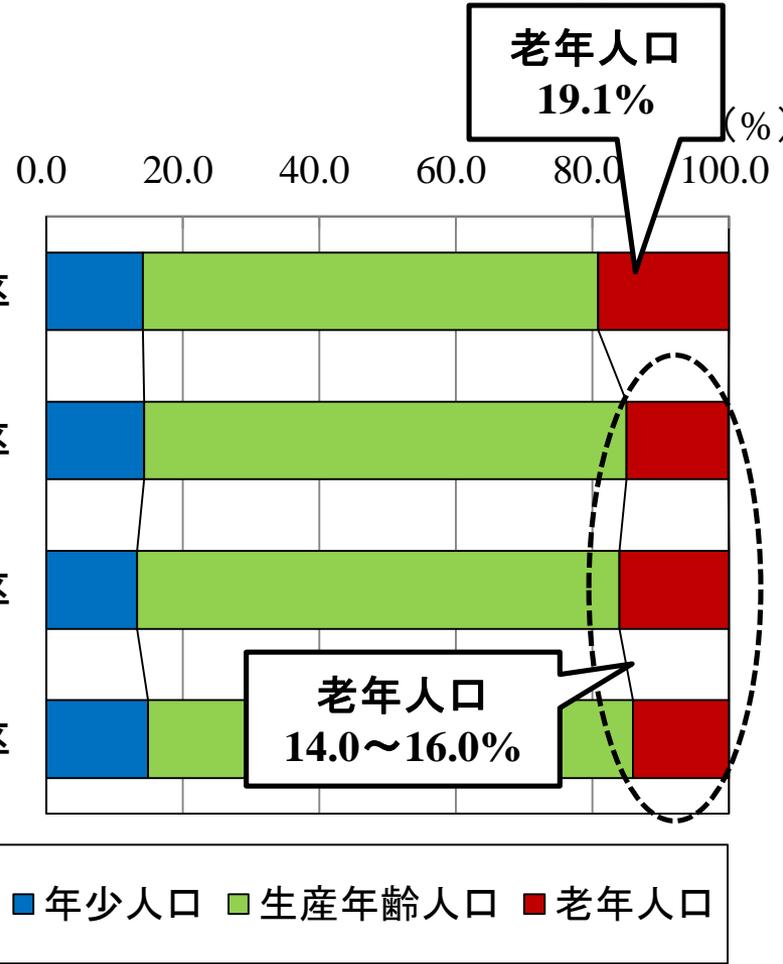


図 震災10年後の年齢層別割合

第2章 建物棟数の変化

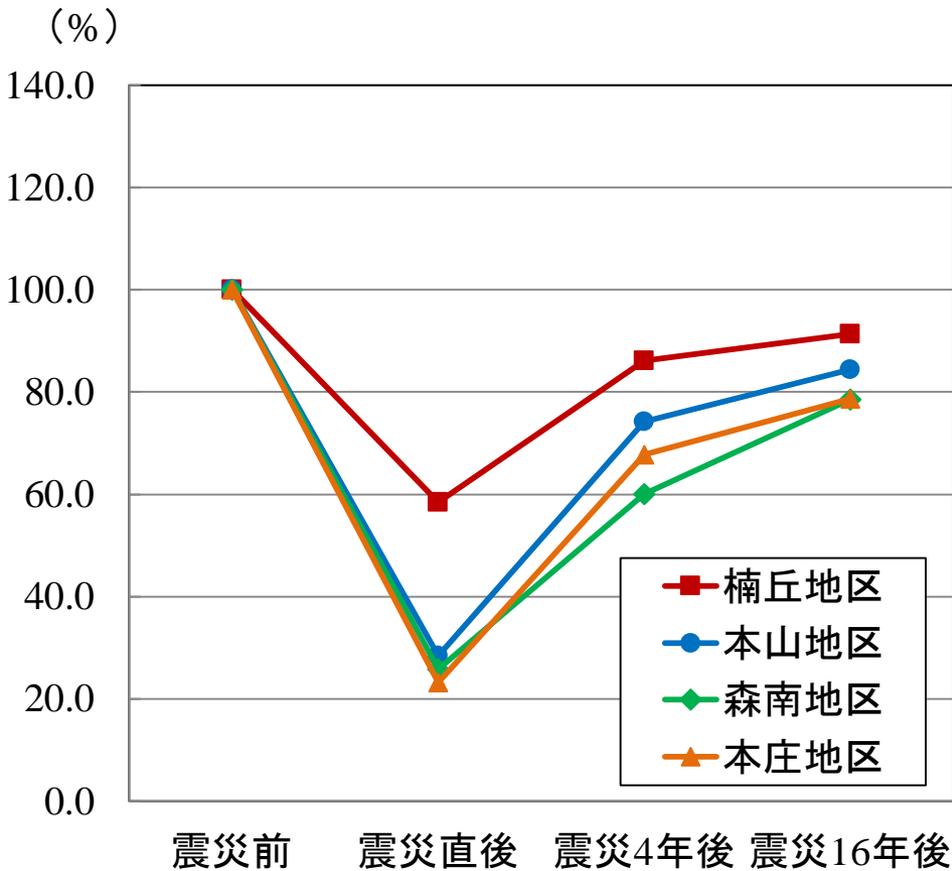


図 調査対象地区の住宅棟数増減率

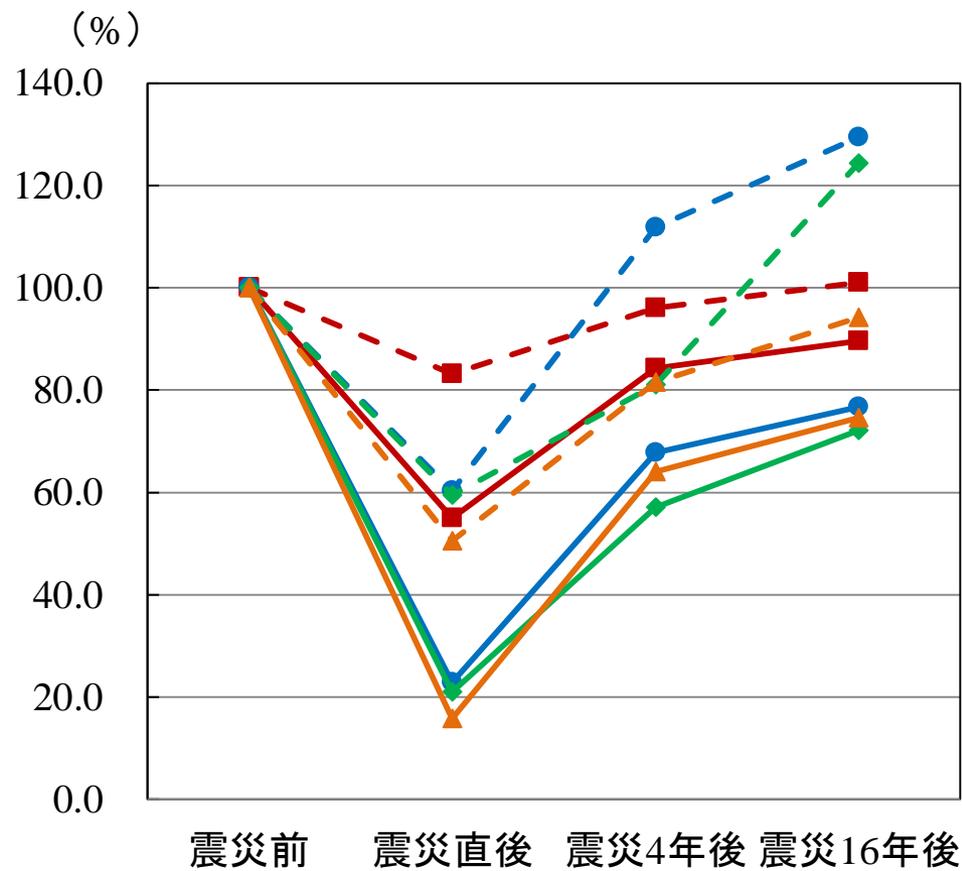


図 調査対象地区の独立・集合住宅の増減率

第2章 建物棟数の変化

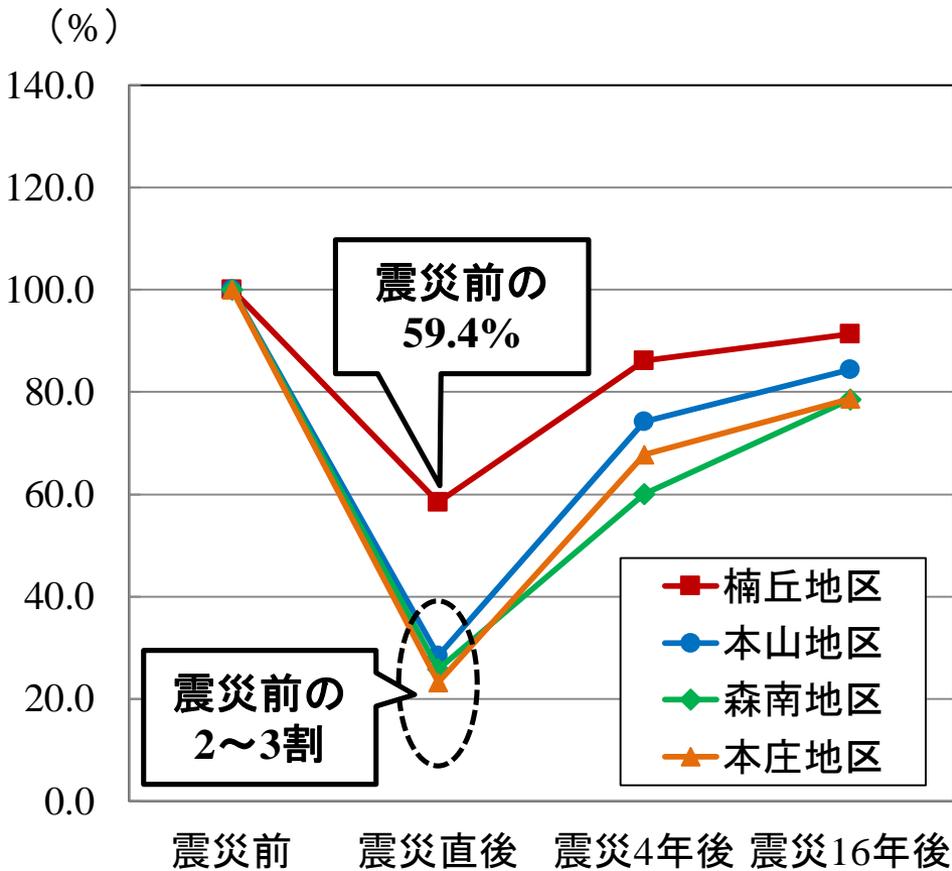


図 調査対象地区の住宅棟数増減率

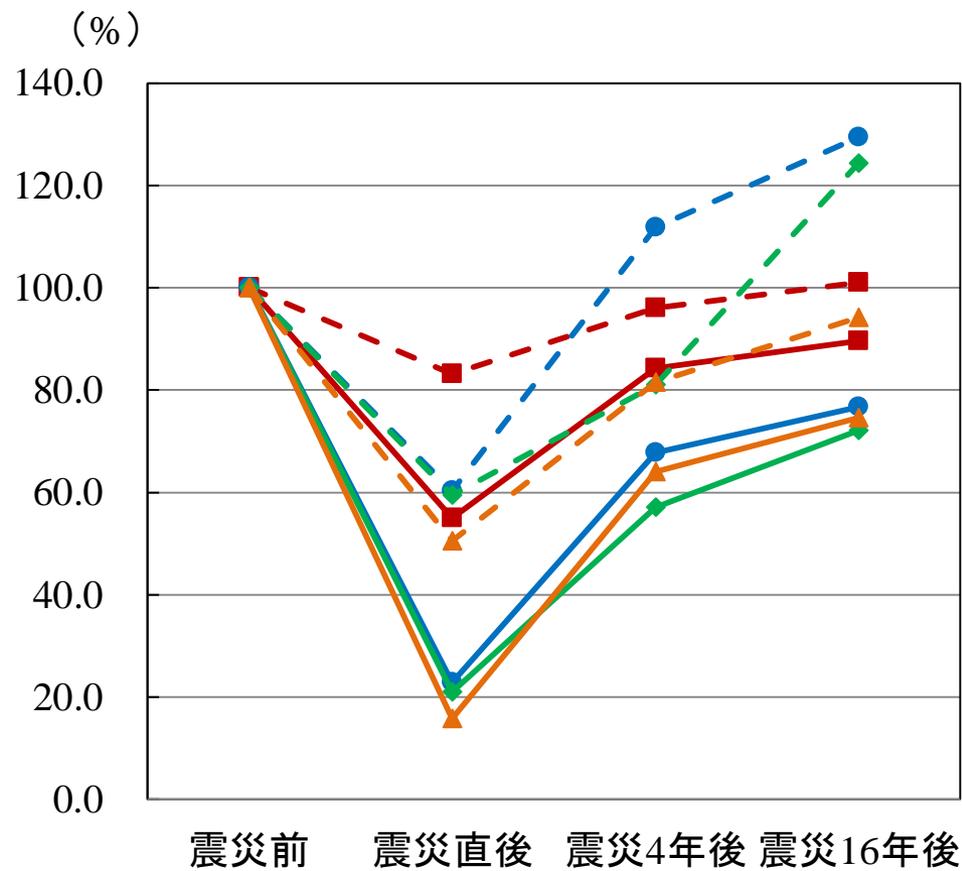


図 調査対象地区の独立・集合住宅の増減率

第2章 建物棟数の変化

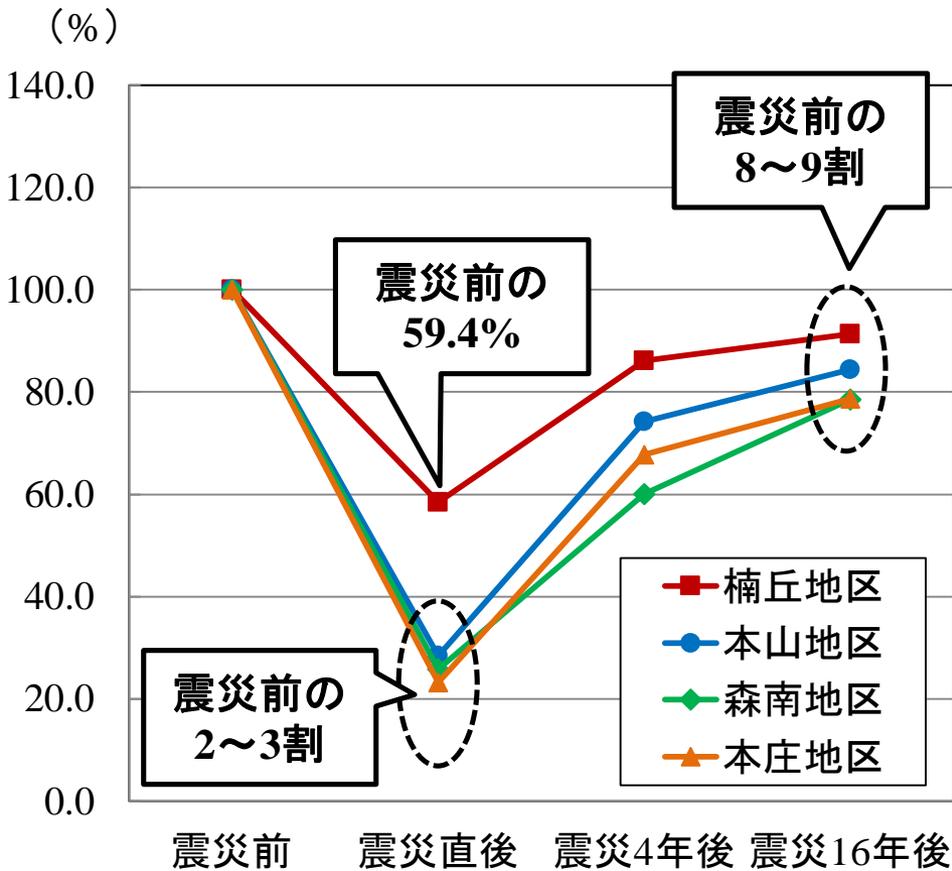


図 調査対象地区の住宅棟数増減率

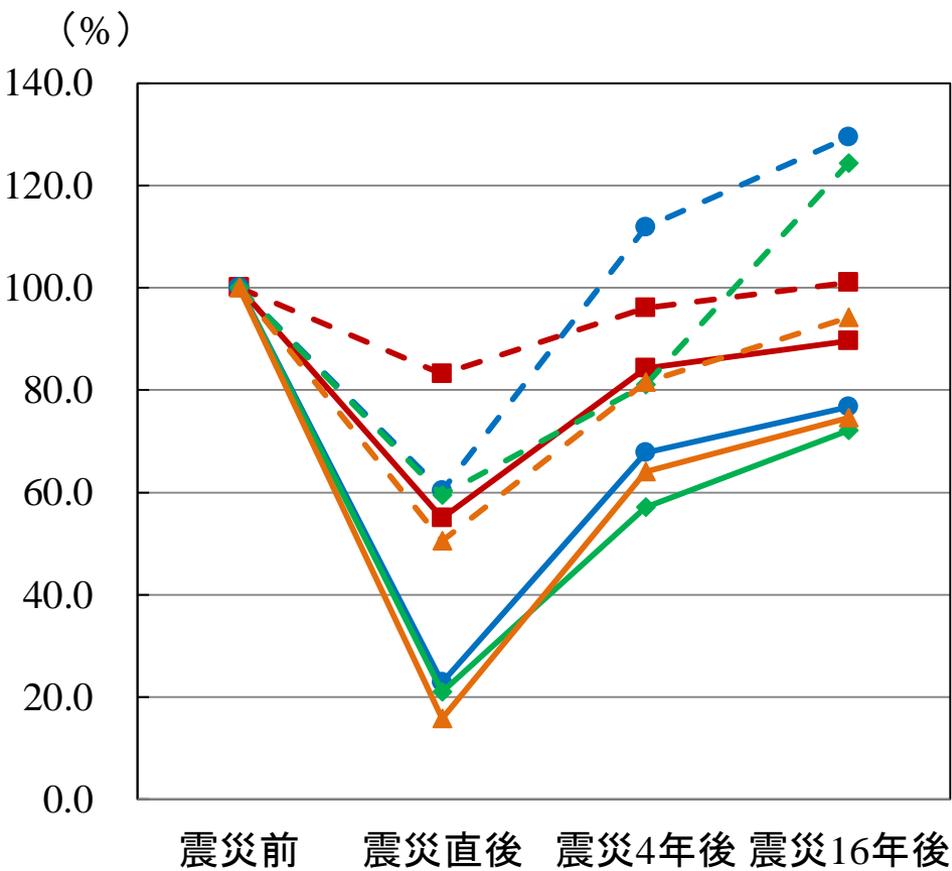


図 調査対象地区の独立・集合住宅の増減率

第2章 建物棟数の変化

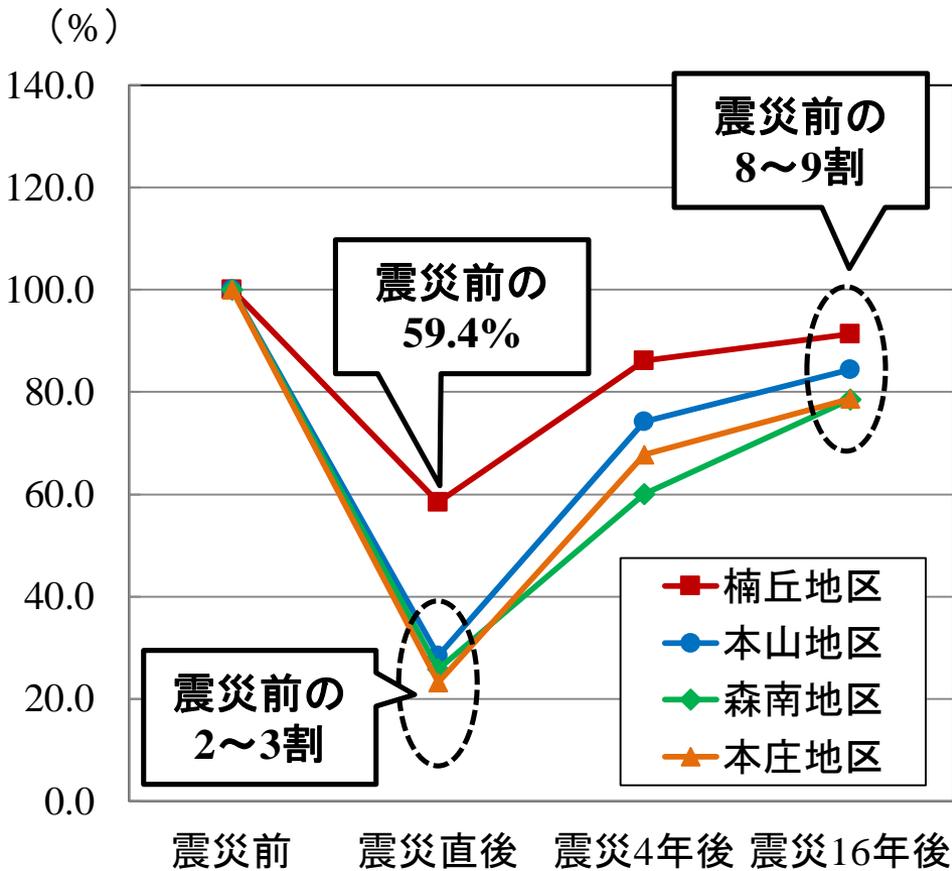


図 調査対象地区の住宅棟数増減率

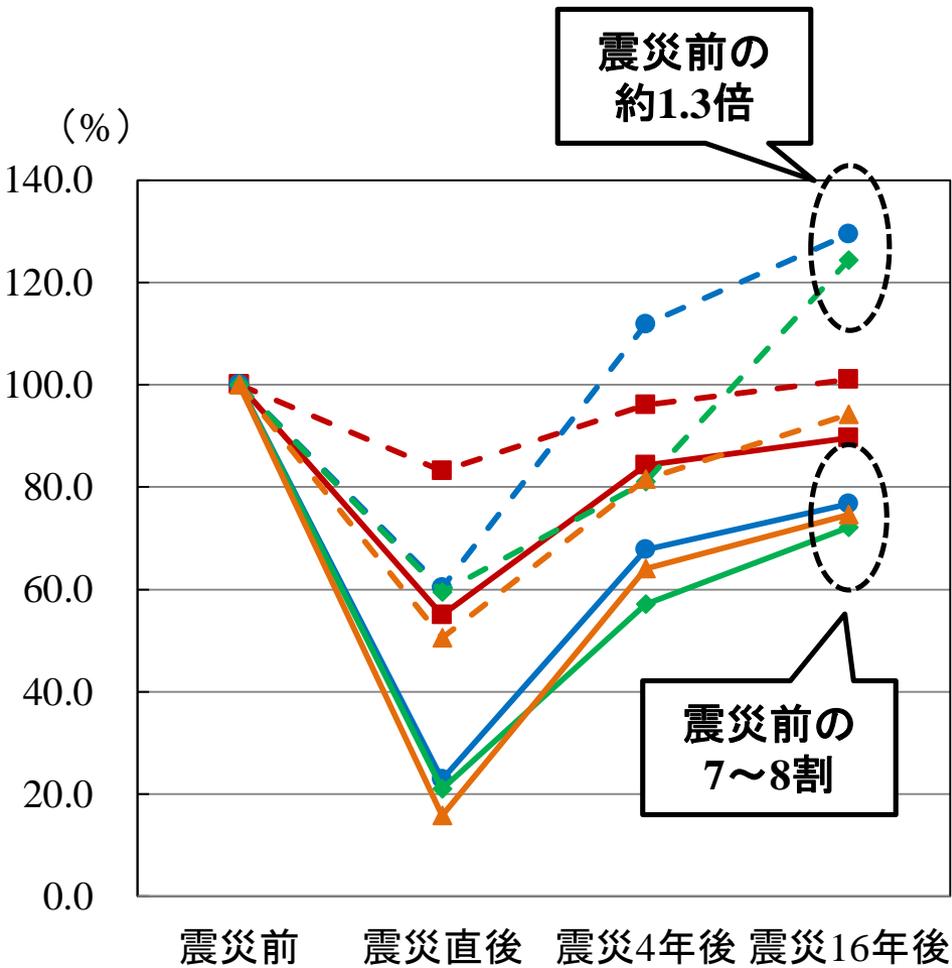


図 調査対象地区の独立・集合住宅の増減率

第2章 道路形態の変化

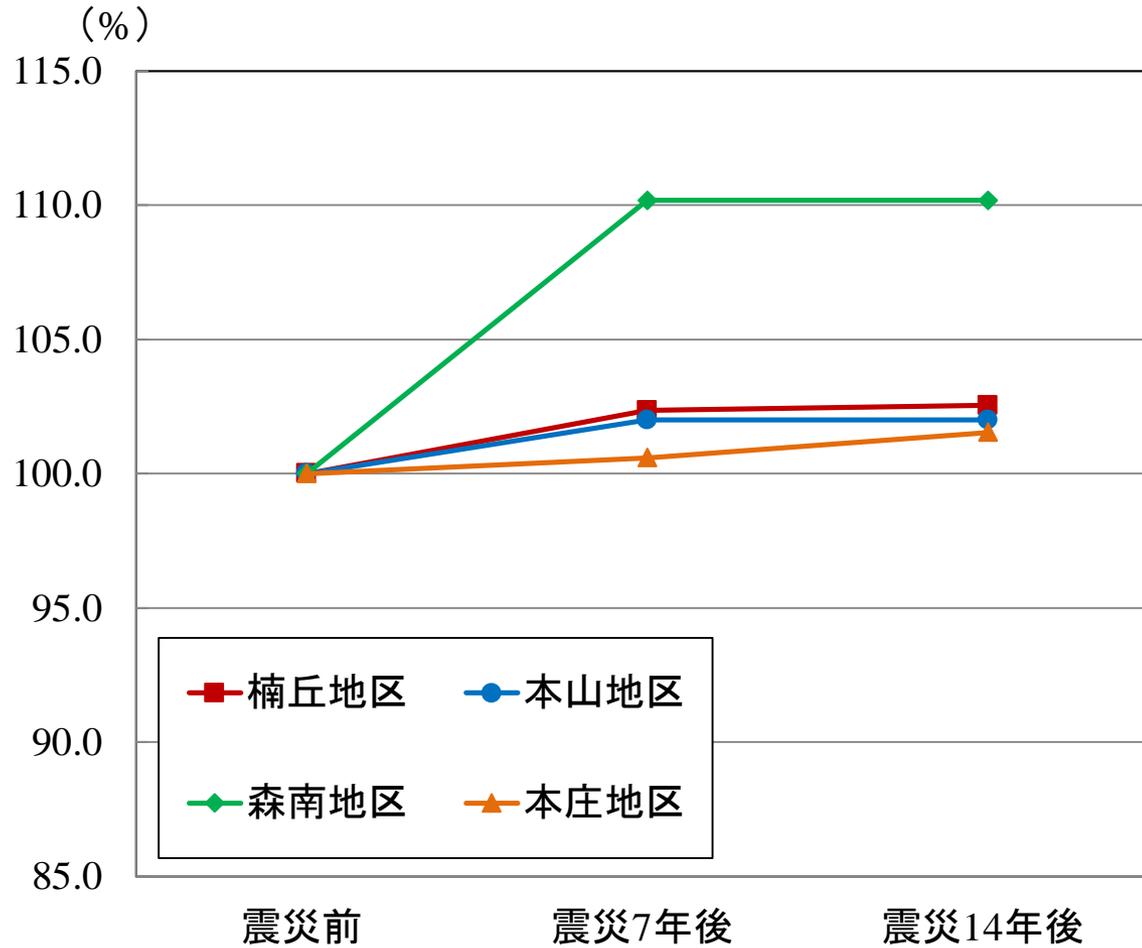


図 調査対象地区の幅員4m以上の道路延長増減率

第2章 道路形態の変化

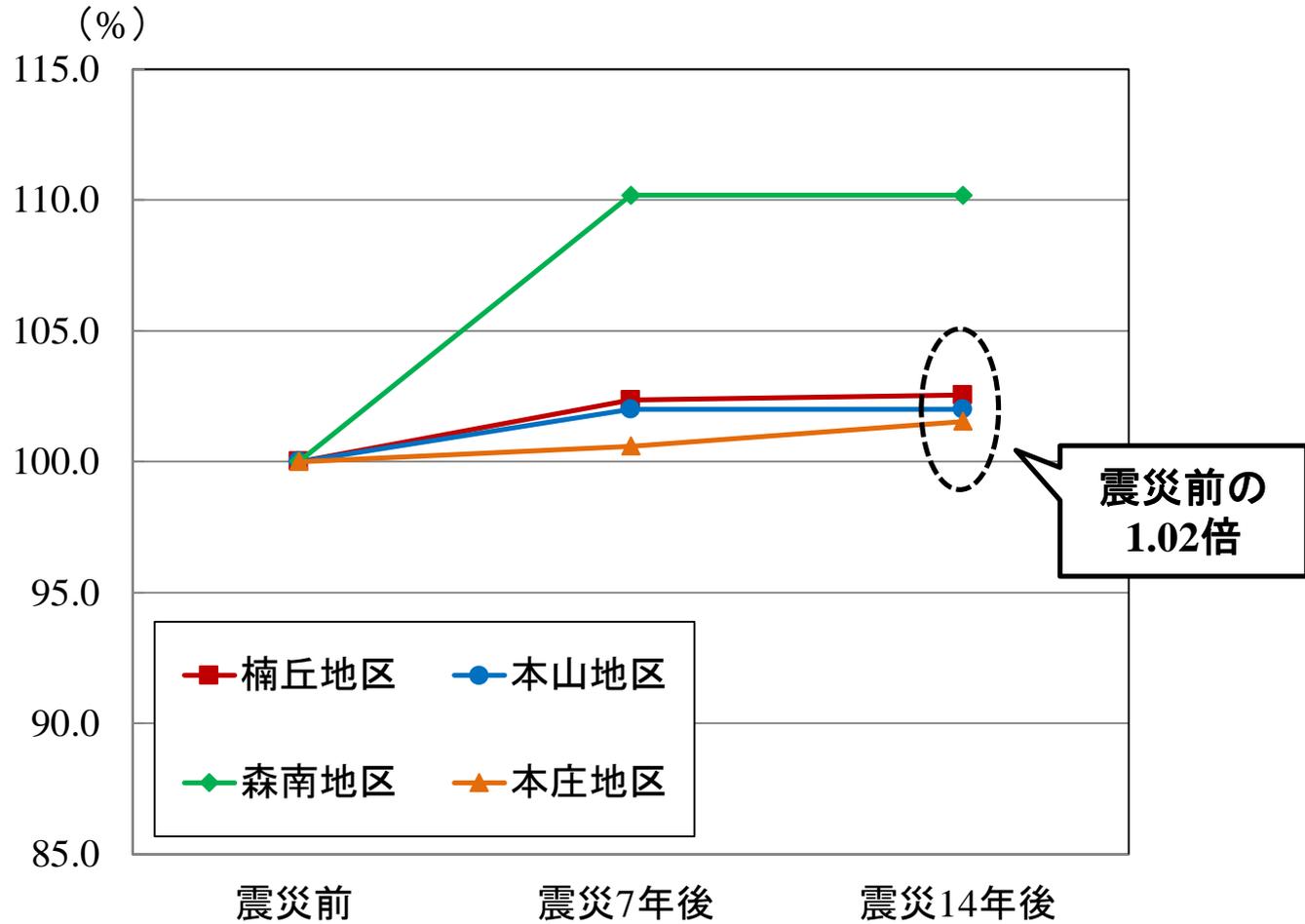


図 調査対象地区の幅員4m以上の道路延長増減率

第2章 道路形態の変化

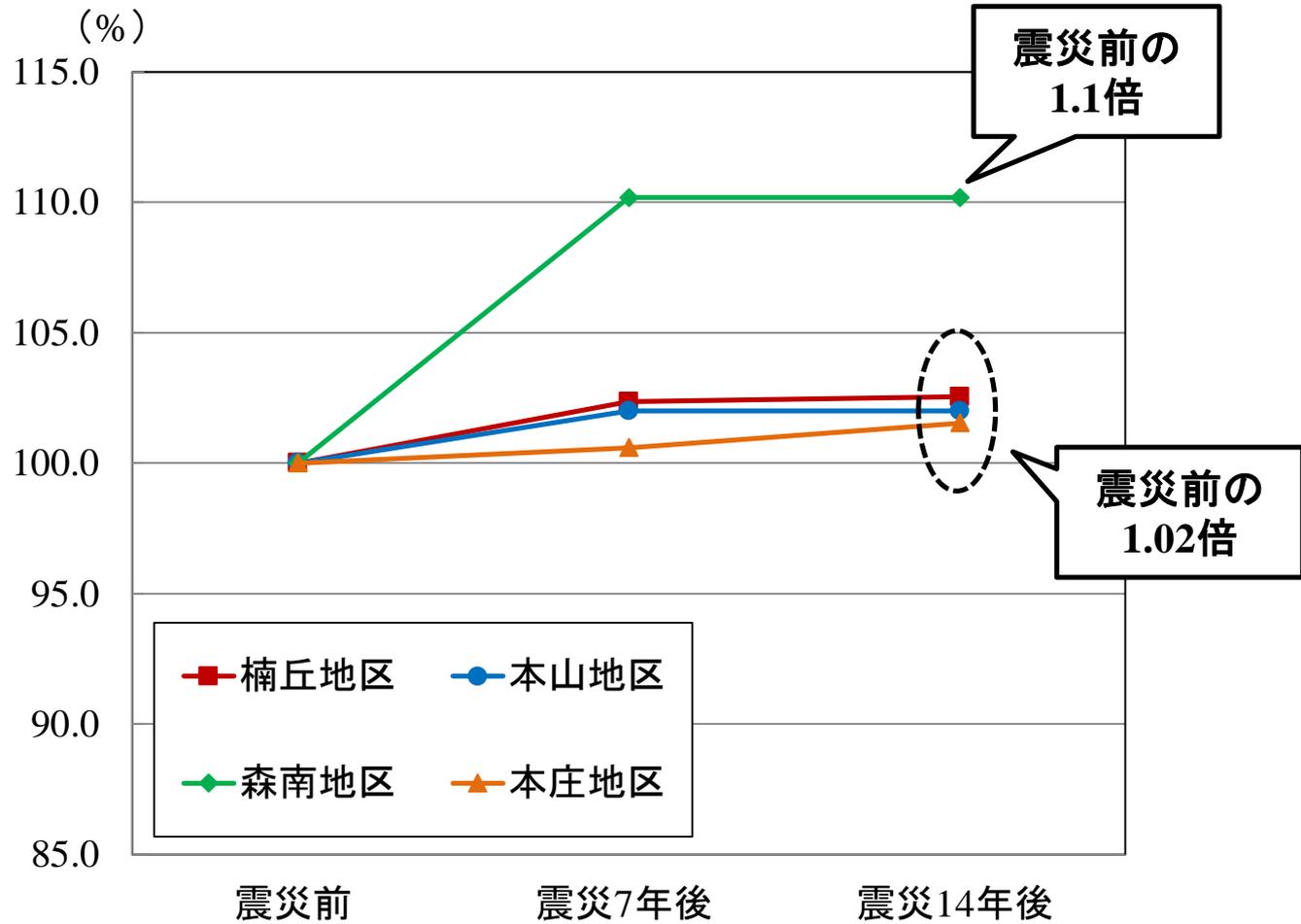


図 調査対象地区の幅員4m以上の道路延長増減率

第3章 調査対象地区における緑環境の成熟度

<調査方法>

緑環境の成熟度を緑被率、アイレベルから捉えた緑視率の2つの視点から捉えた。

緑被率

元データ

- ・航空写真

調査対象時期

- ・震災前
- 震災100日後
- 震災4年後
- 震災14年後

解析方法

- ・公共、私有に分類



- ・緑被率の算出

緑視率

調査対象

- ・震災4年後に撮影された居住者が好む街路景
- ・各地区26～32景の計113景

撮影方法

- ・震災16年後に撮影
(本研究で撮影)
- ・震災4年後の113景の写真と同じ季節(8月)
- 同じ視点
- 同じ画角

で撮影

解析方法

- ・公共、私有(半公的・私的)六甲山景に分類



- ・平均緑視率
- ・緑視率が増加した景数

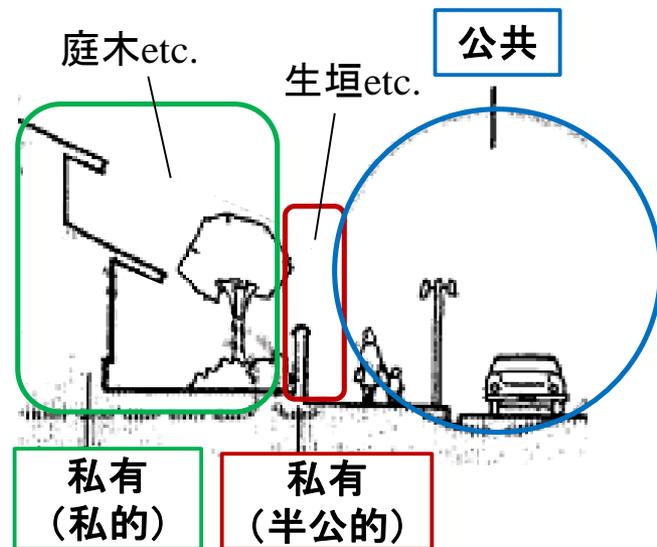


図 緑の分類

第3章 緑被率の変化

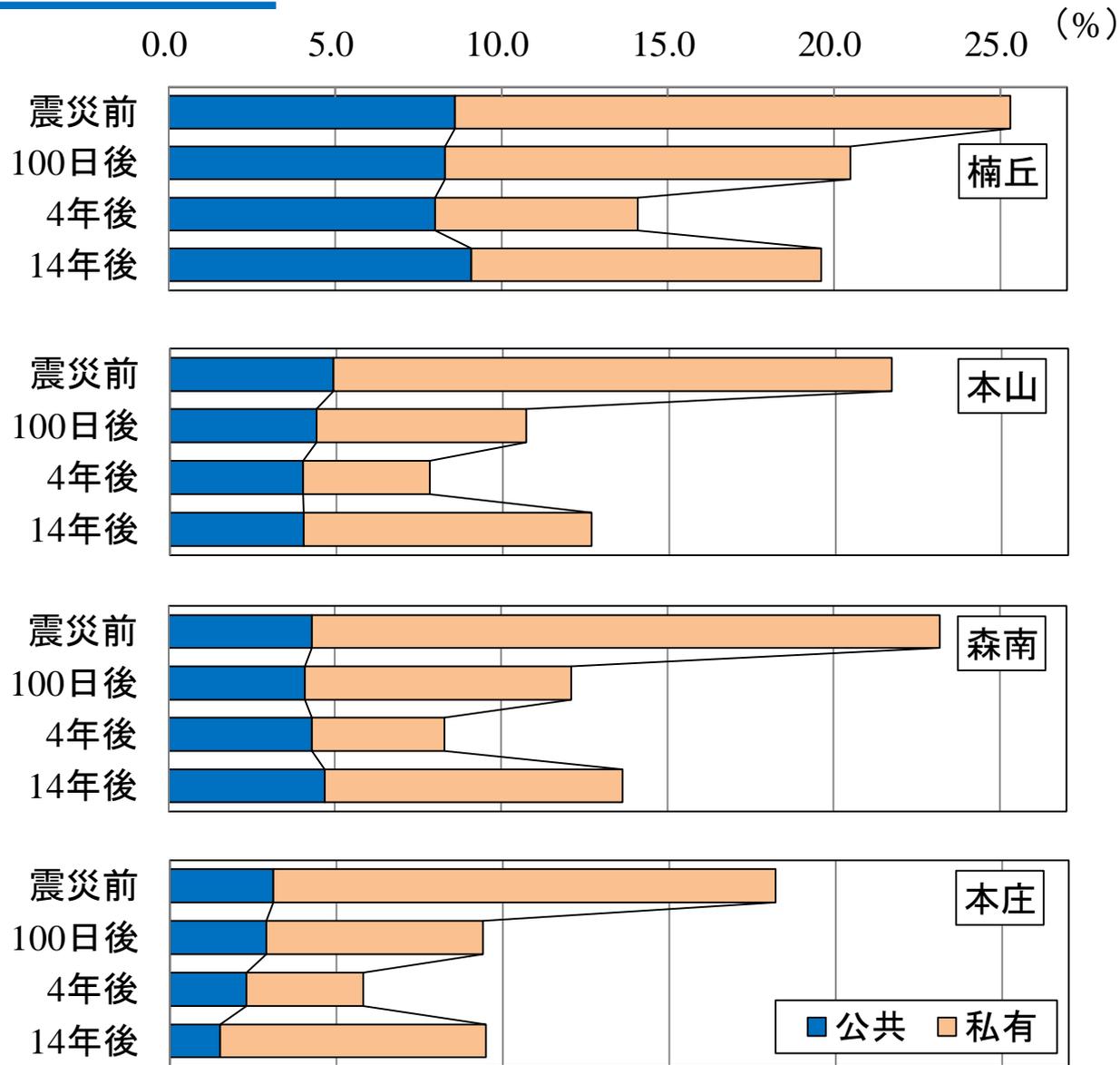


図 調査対象地区の緑被率変化

第3章 緑被率の変化

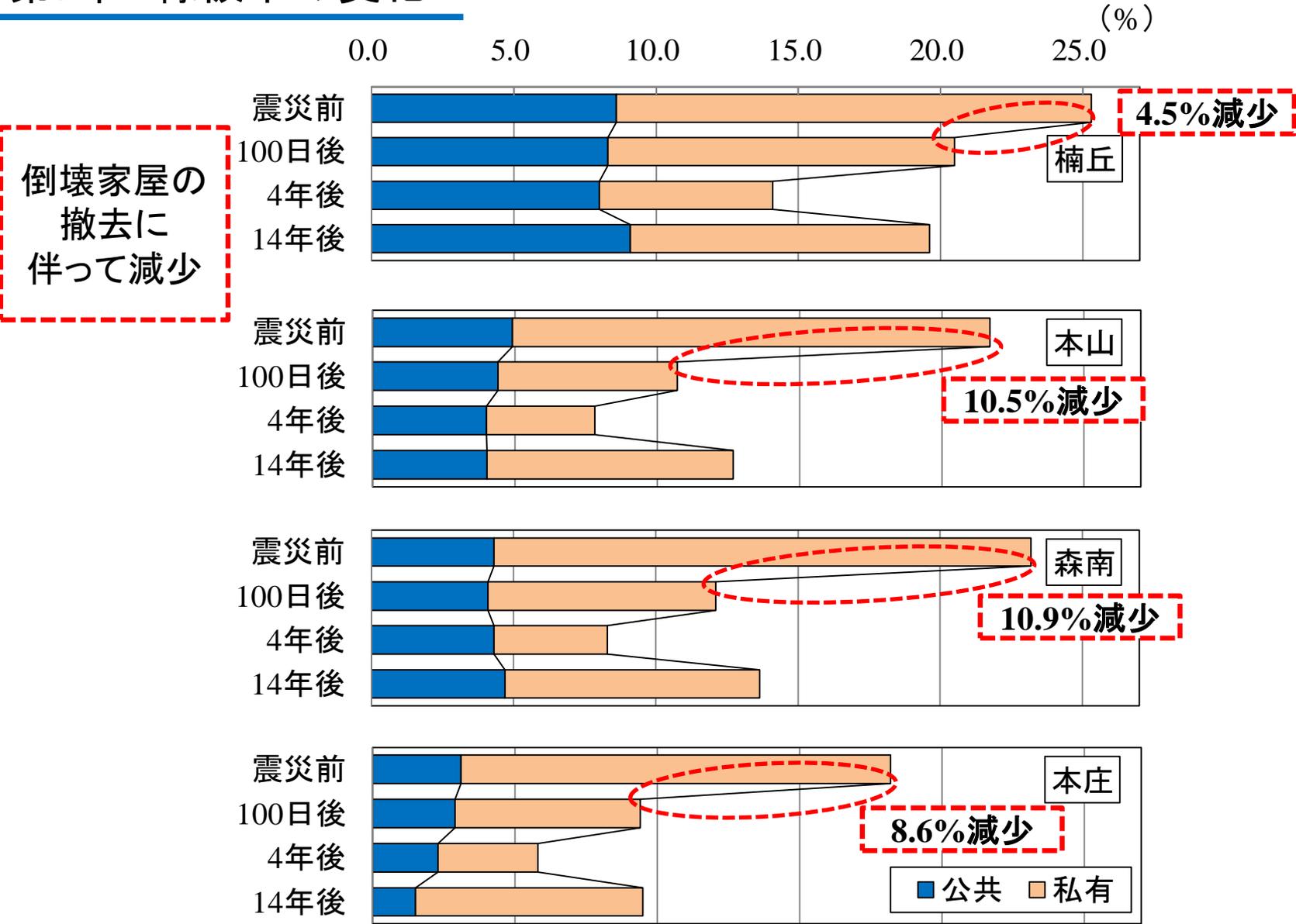


図 調査対象地区の緑被率変化

第3章 緑被率の変化

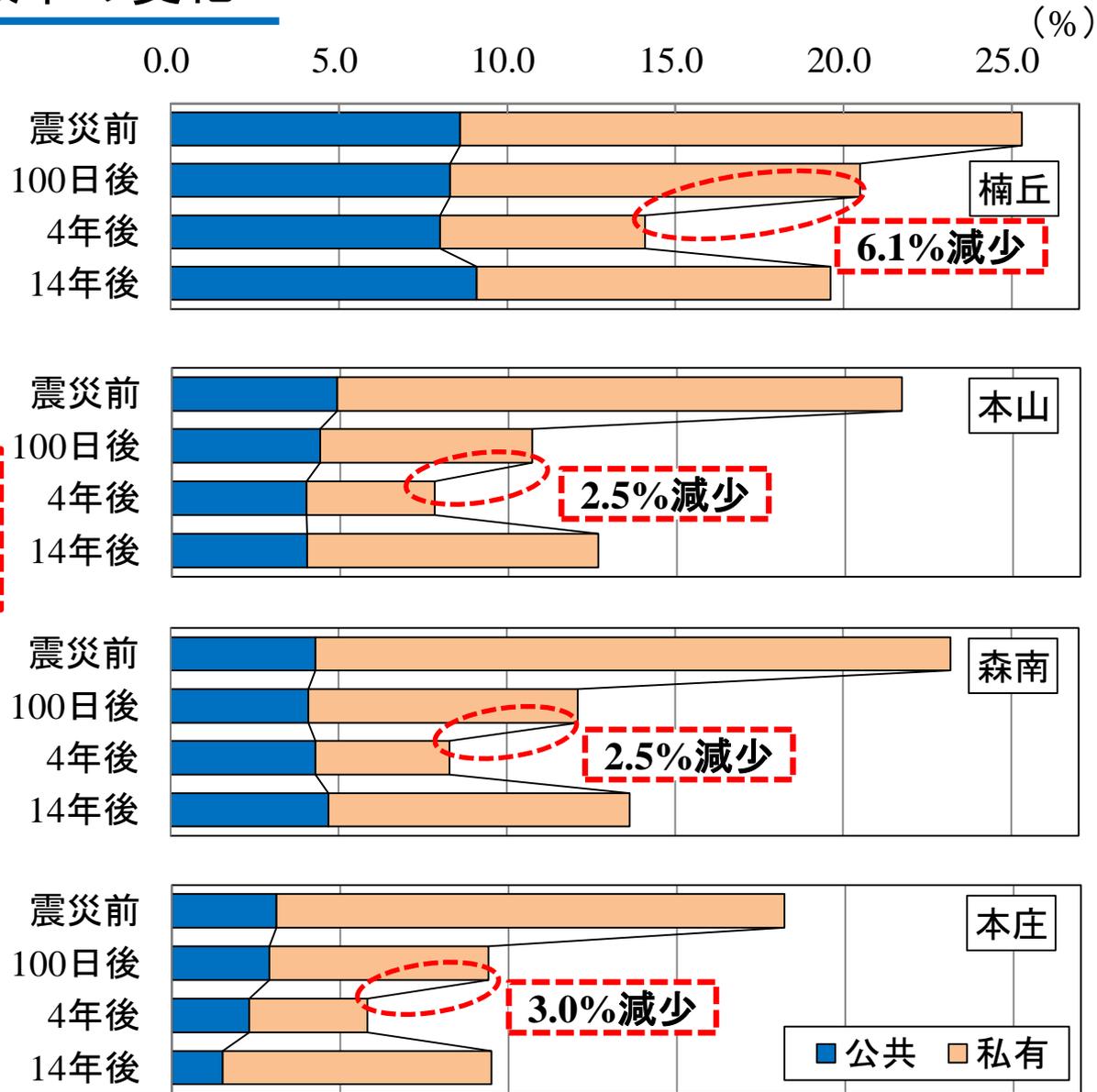


図 調査対象地区の緑被率変化

第3章 緑被率の変化

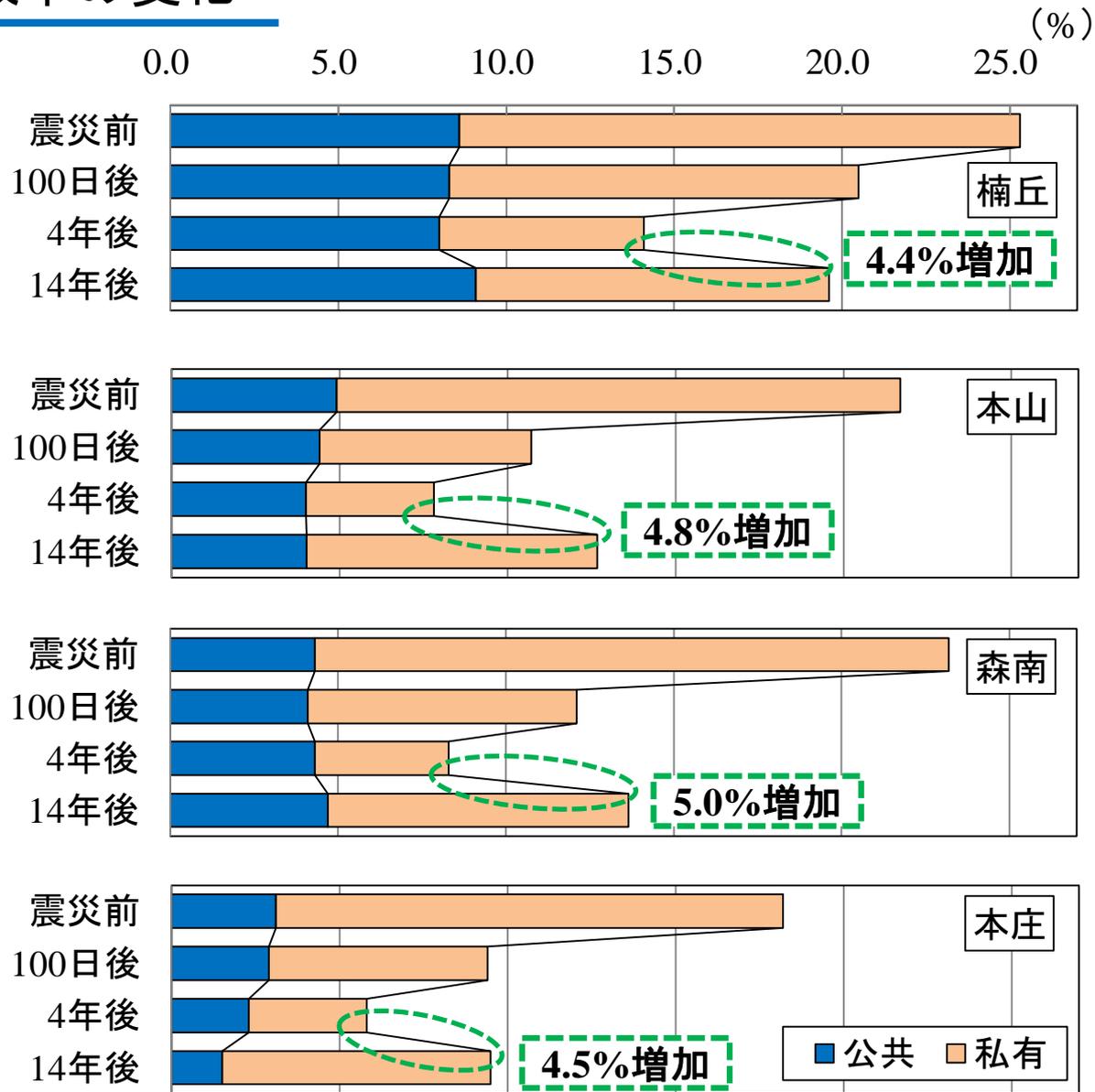


図 調査対象地区の緑被率変化

第3章 緑被率の変化

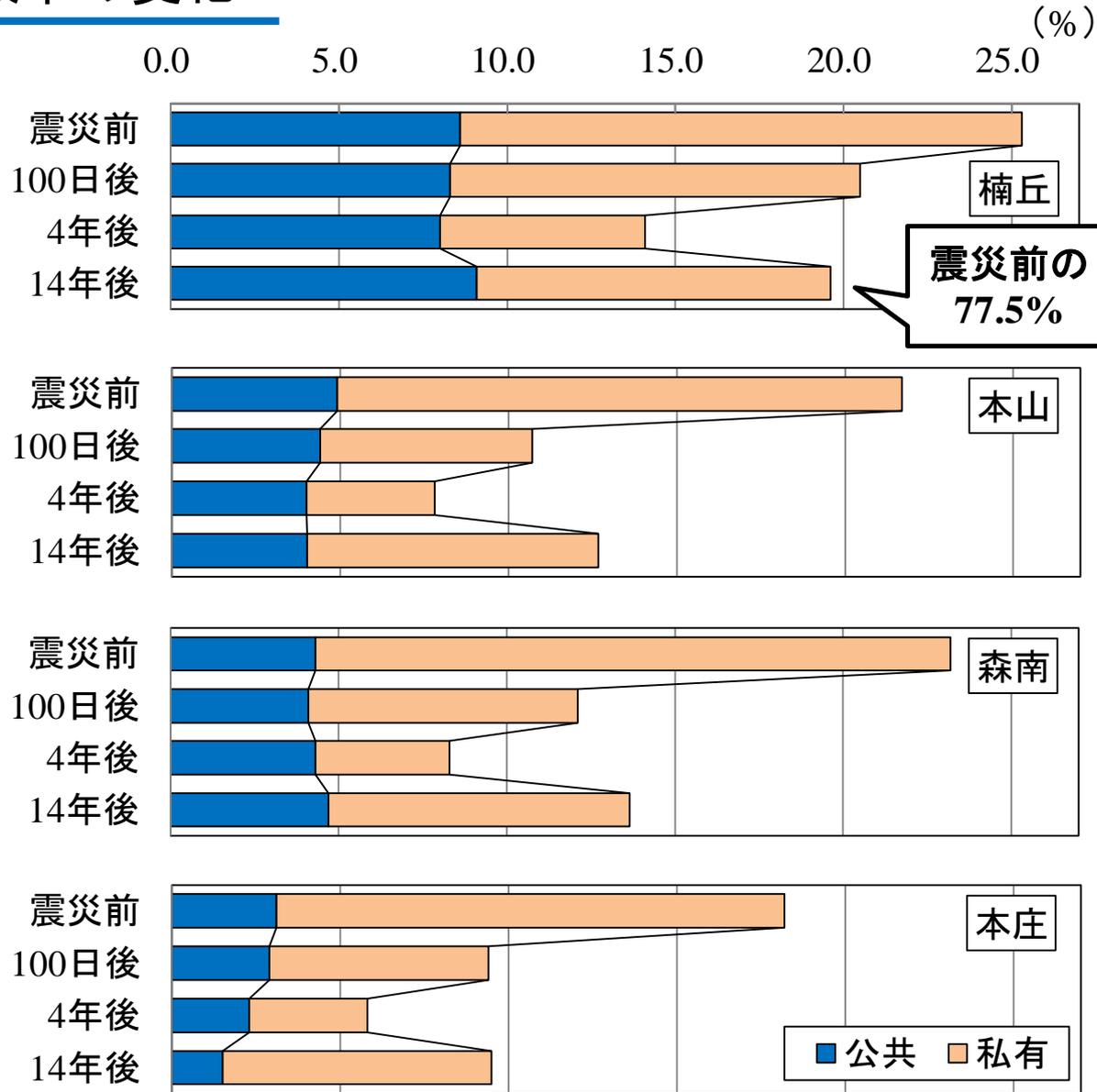


図 調査対象地区の緑被率変化

第3章 緑被率の変化

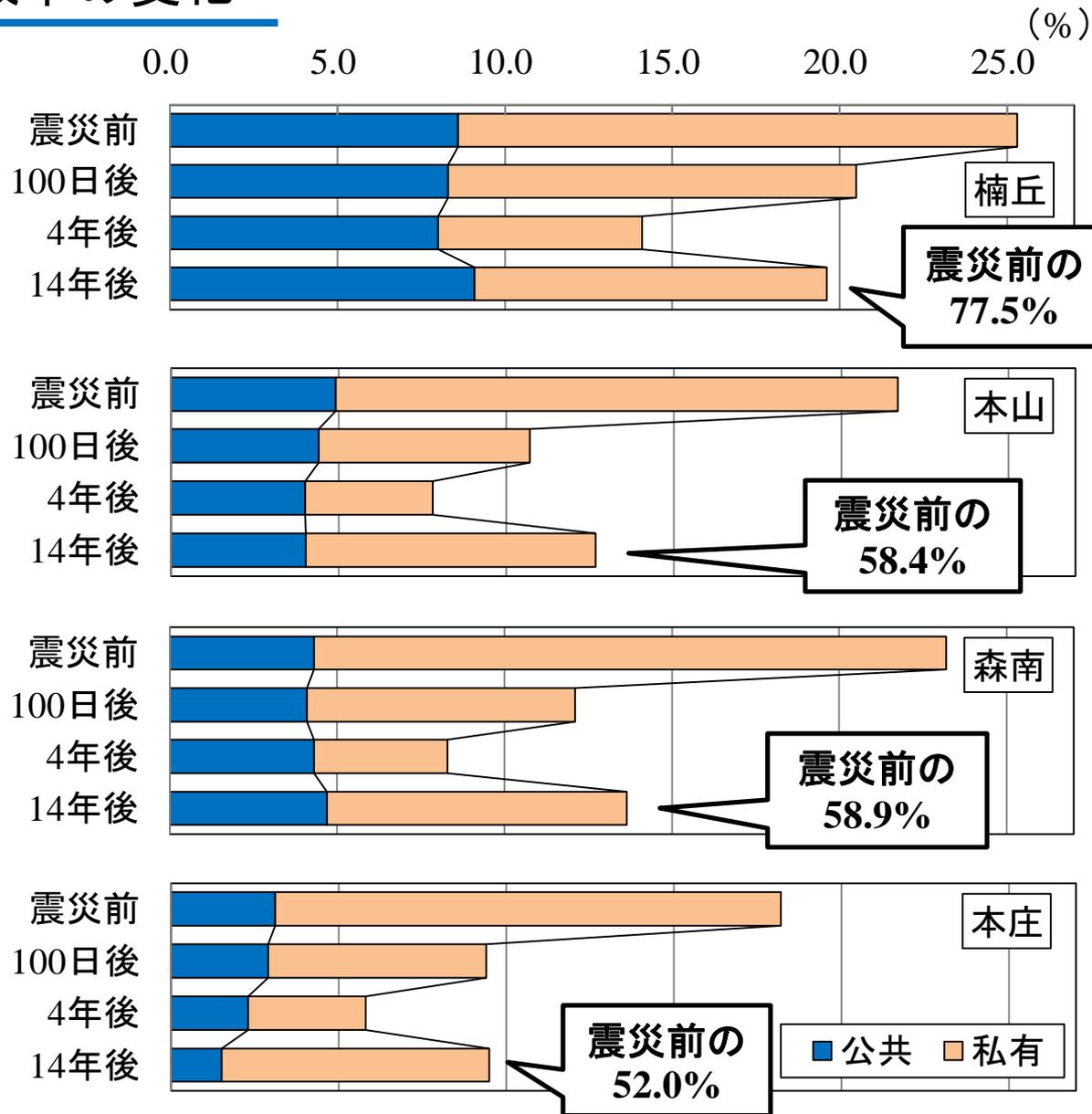


図 調査対象地区の緑被率変化

第3章 緑視率の変化

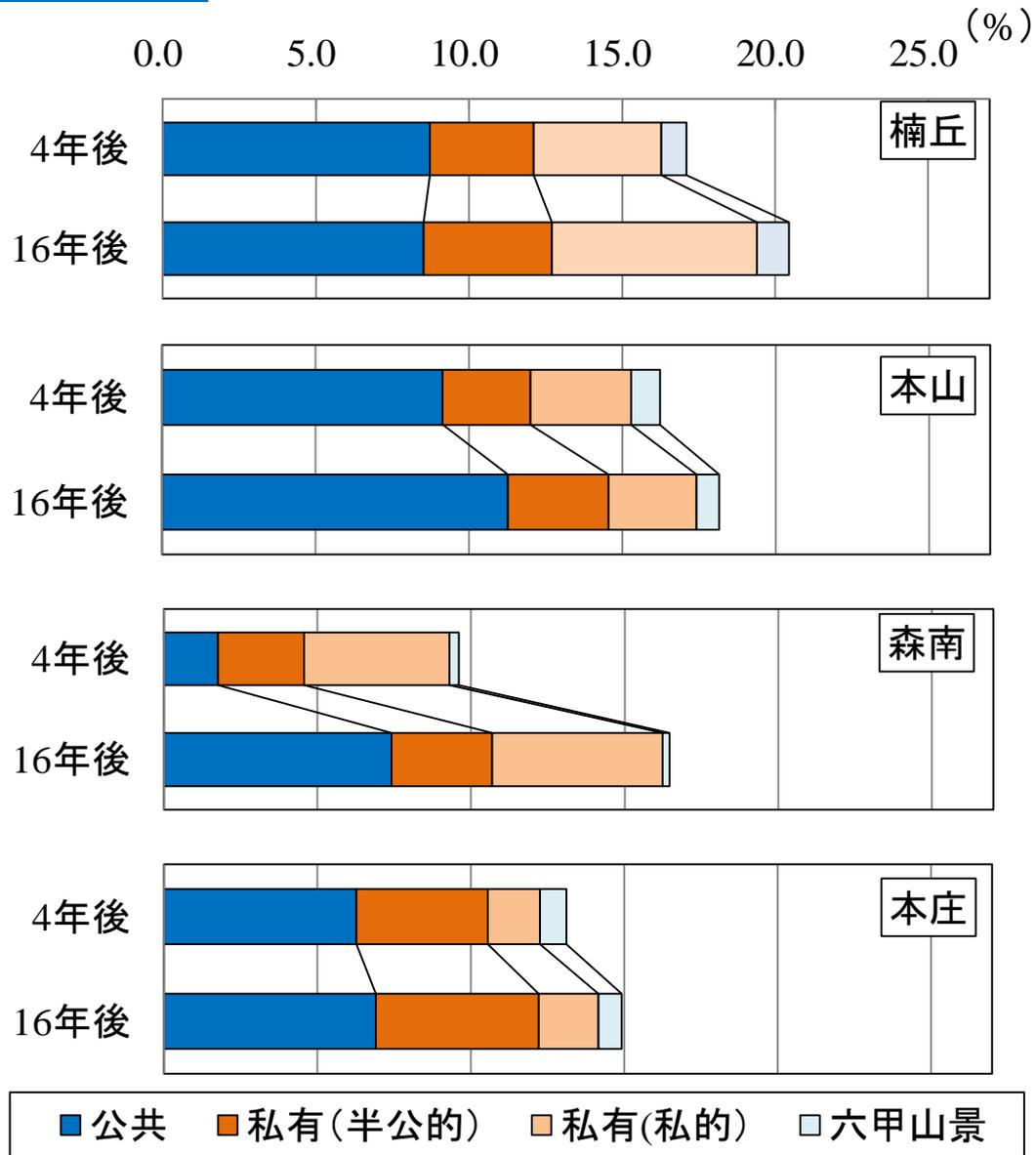


図 調査対象地区の緑視率変化

第3章 緑視率の変化

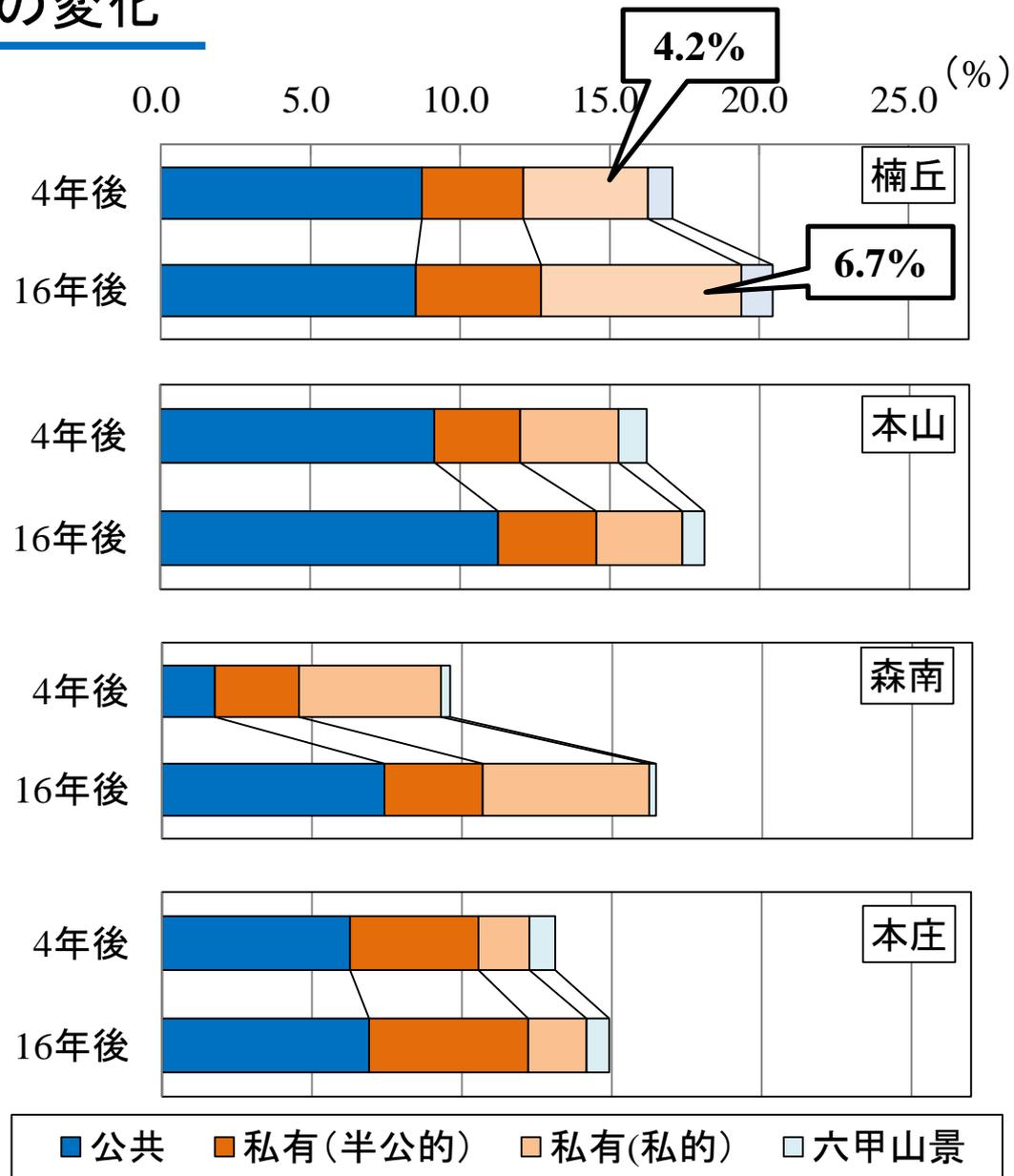


図 調査対象地区の緑視率変化

第3章 緑視率の変化

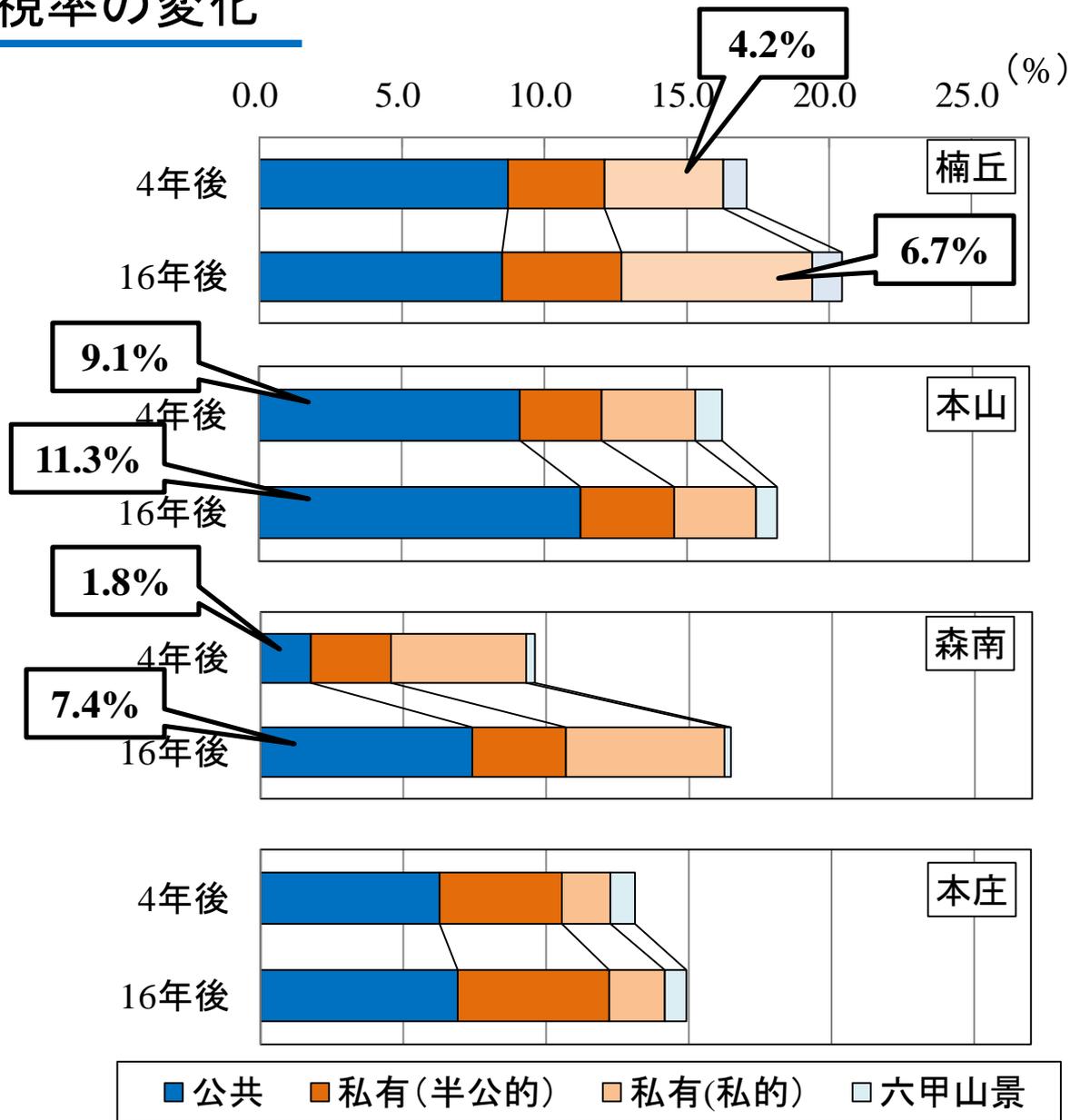


図 調査対象地区の緑視率変化

第3章 緑視率の変化

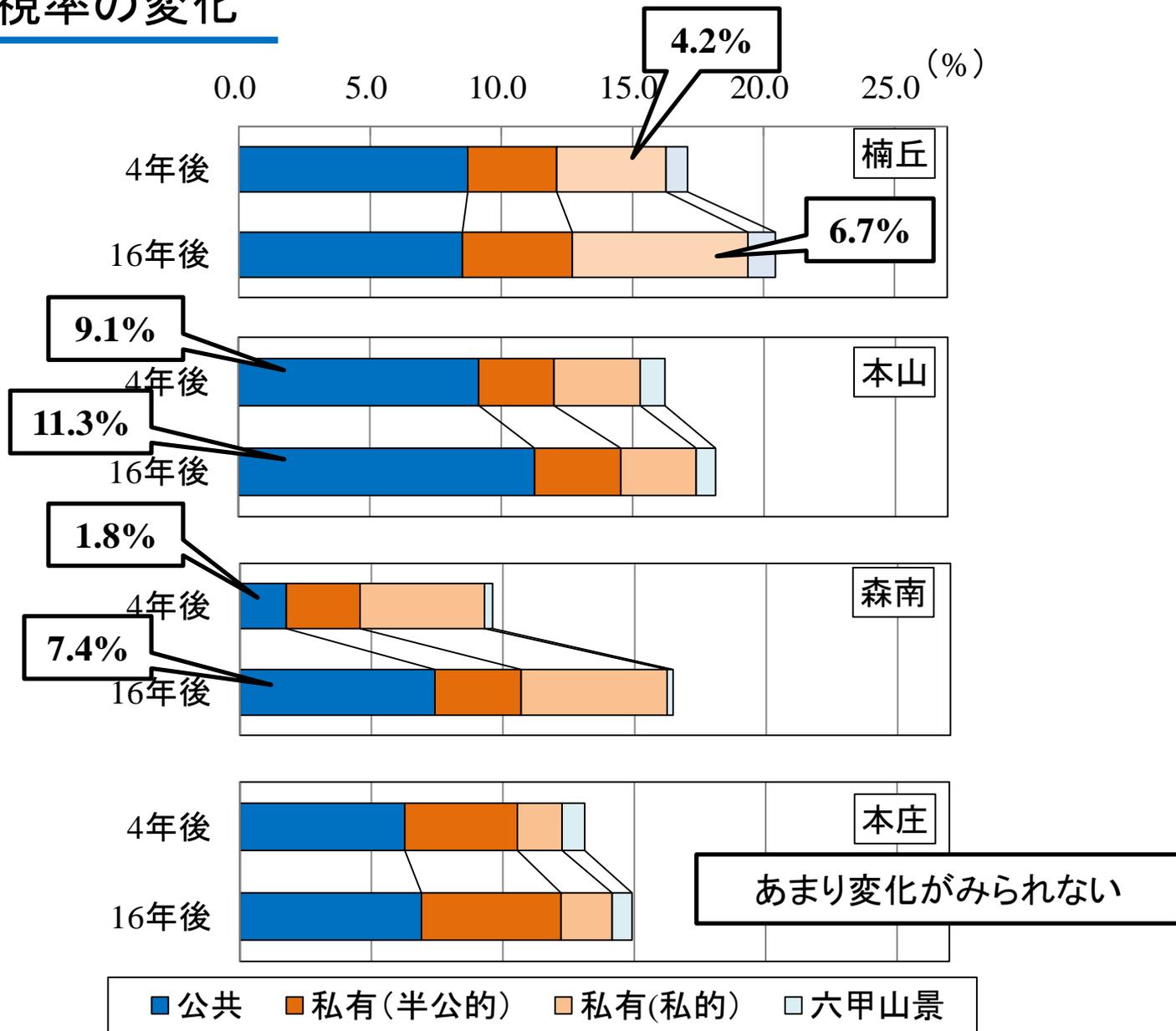


図 調査対象地区の緑視率変化

第3章 楠丘地区における緑視率の変化

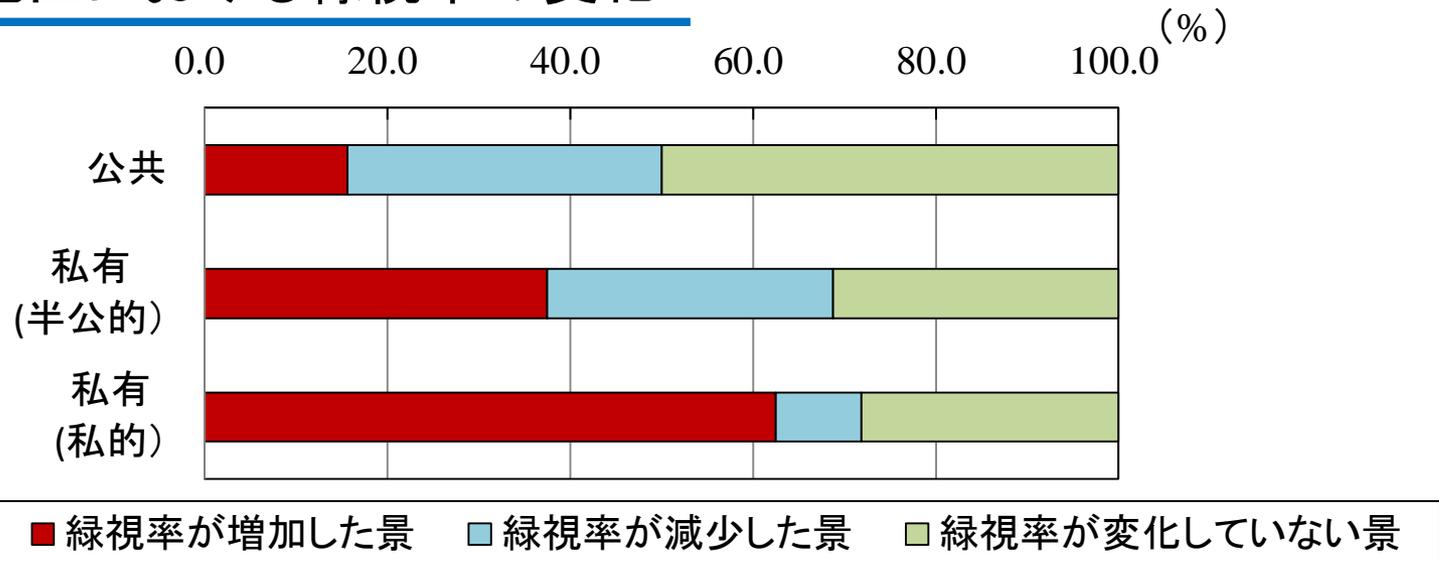
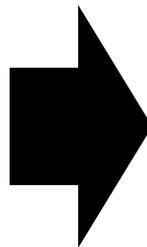


図 楠丘地区における緑視率の増減別景数割合

私的な緑が増加した景

震災4年後



震災16年後



第3章 楠丘地区における緑視率の変化

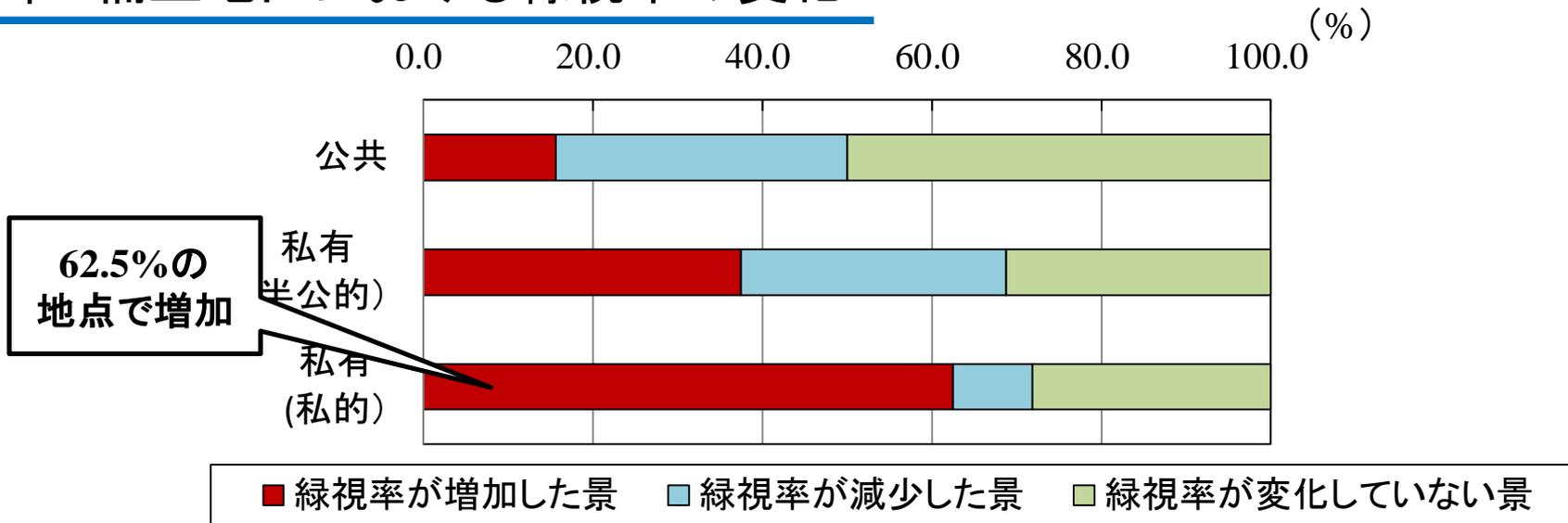
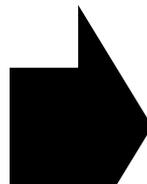


図 楠丘地区における緑視率の増減別景数割合

私的な緑が増加した景

震災4年後

震災16年後



独住宅の庭木が成長

第3章 楠丘地区における緑視率の変化

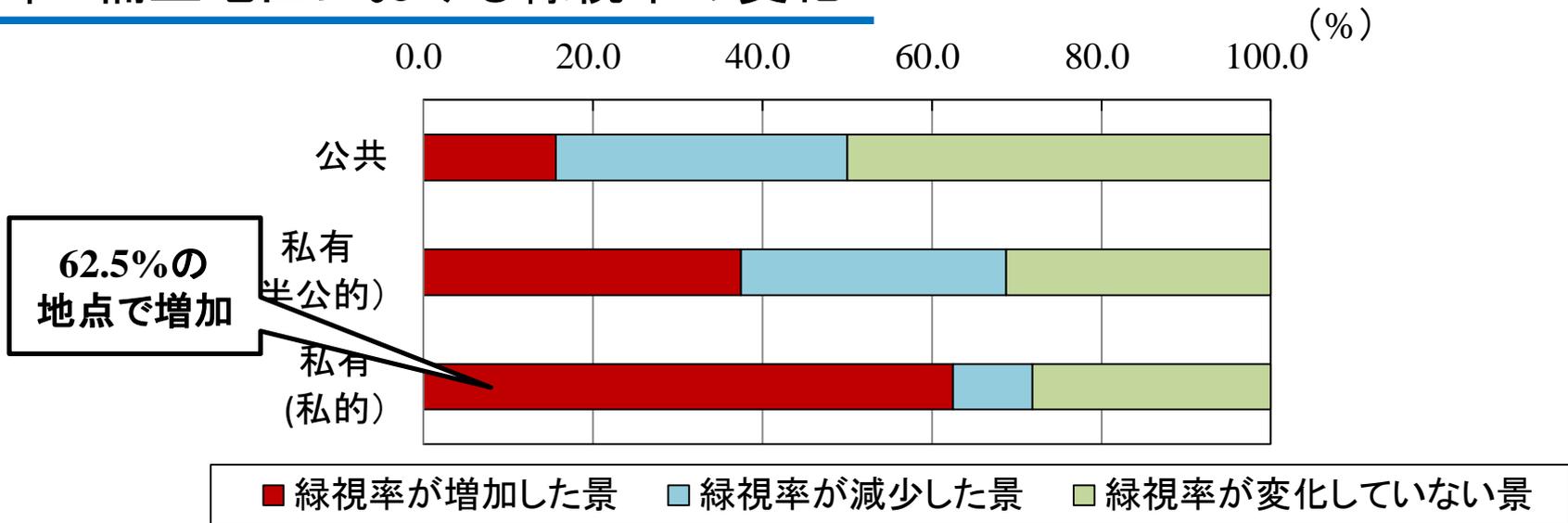
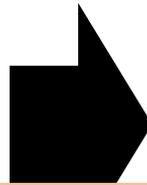


図 楠丘地区における緑視率の増減別景数割合

私的な緑が増加した景

震災4年後

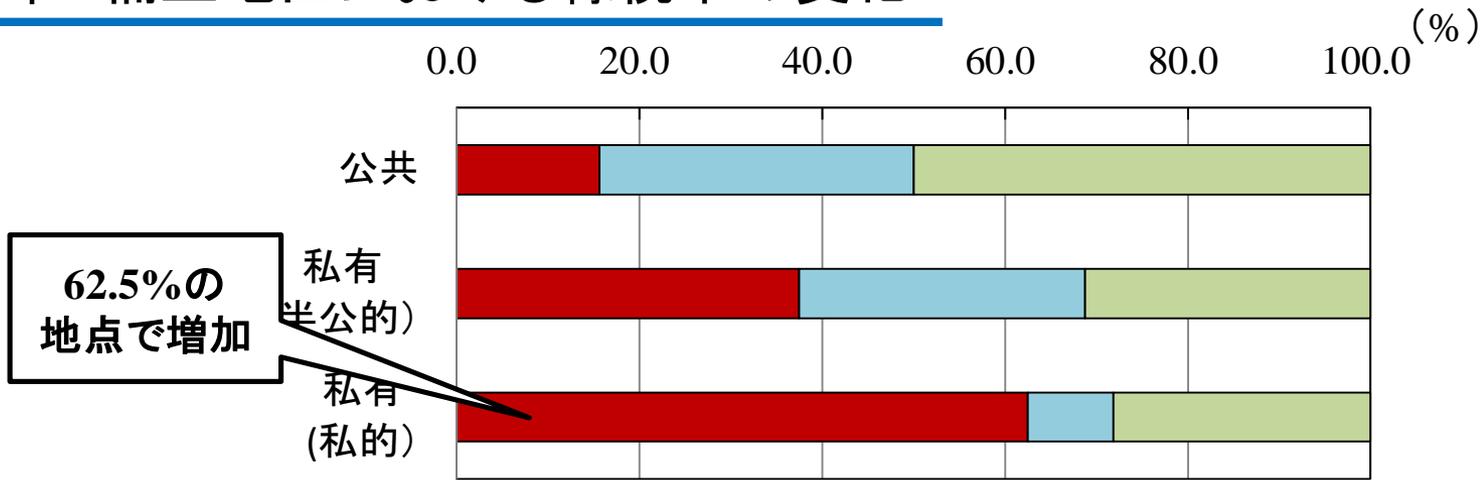


震災16年後



独立住宅の庭木が成長

第3章 楠丘地区における緑視率の変化



私有地の私的な緑が、多くの地点で増加し、街路から捉えられるようになっている。



第3章 本山地区における緑視率の変化

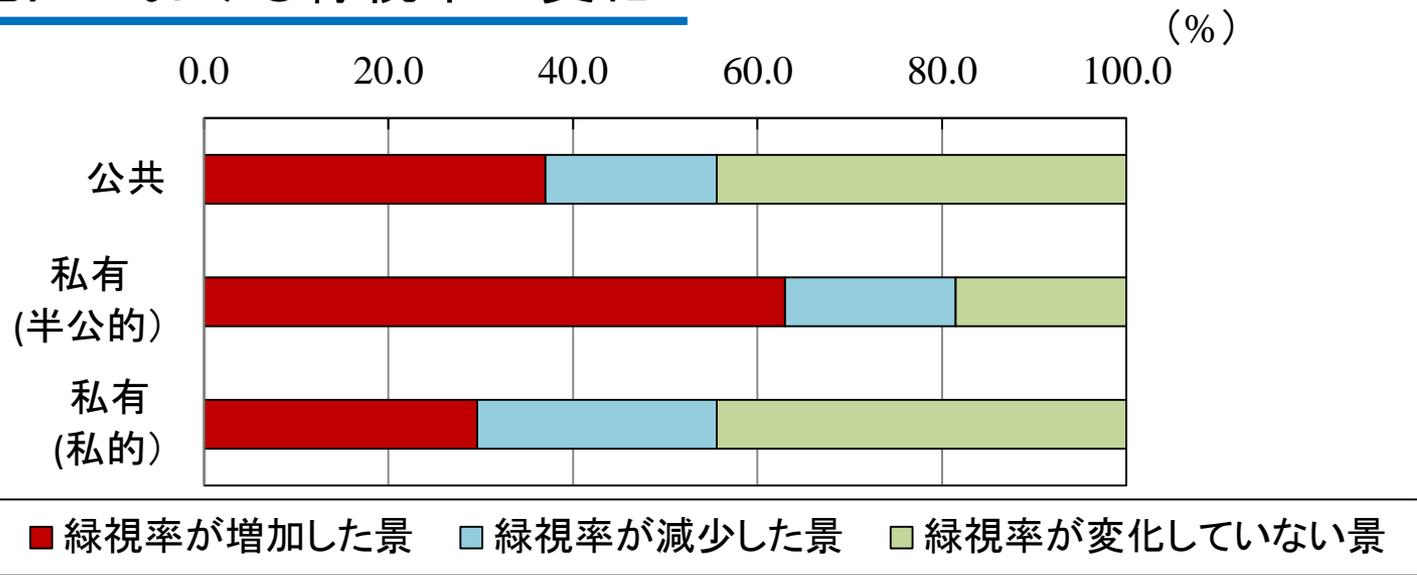
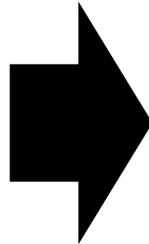


図 本山地区における緑視率の増減別景数割合

半公的な緑が増加した景

震災4年後



震災16年後



第3章 本山地区における緑視率の変化

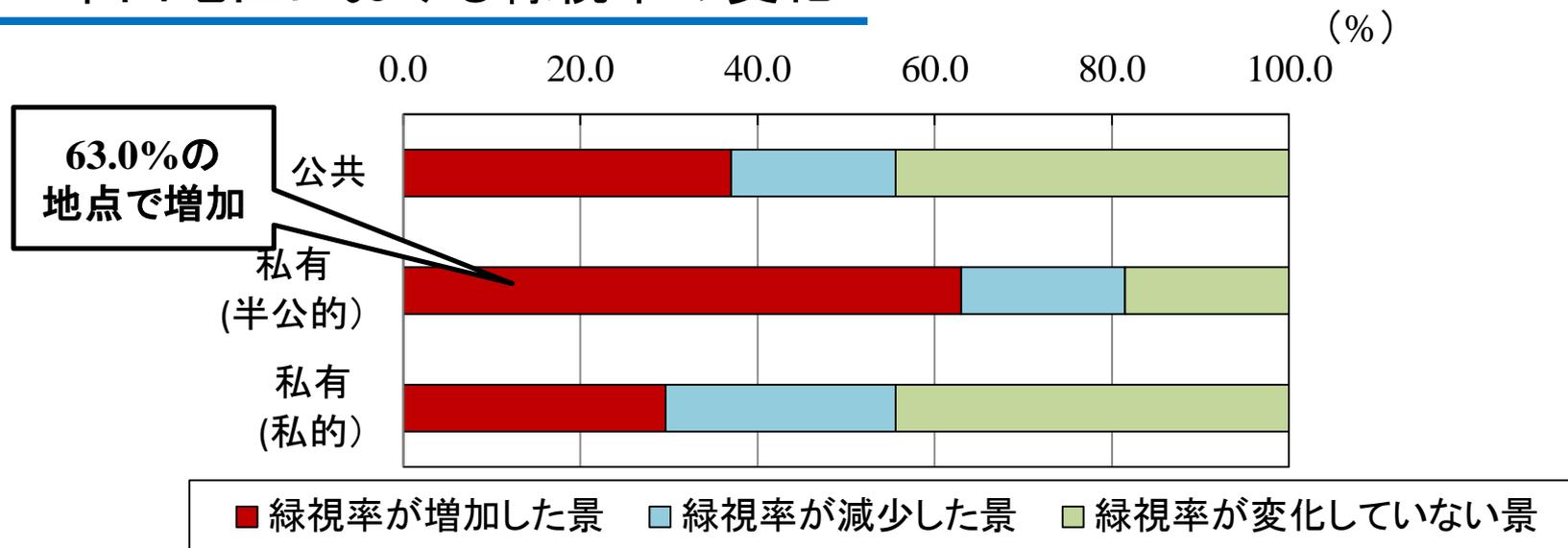
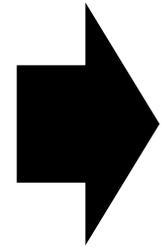


図 本山地区における緑視率の増減別景数割合

半公的な緑が増加した景

震災4年後



震災16年後



第3章 本山地区における緑視率の変化

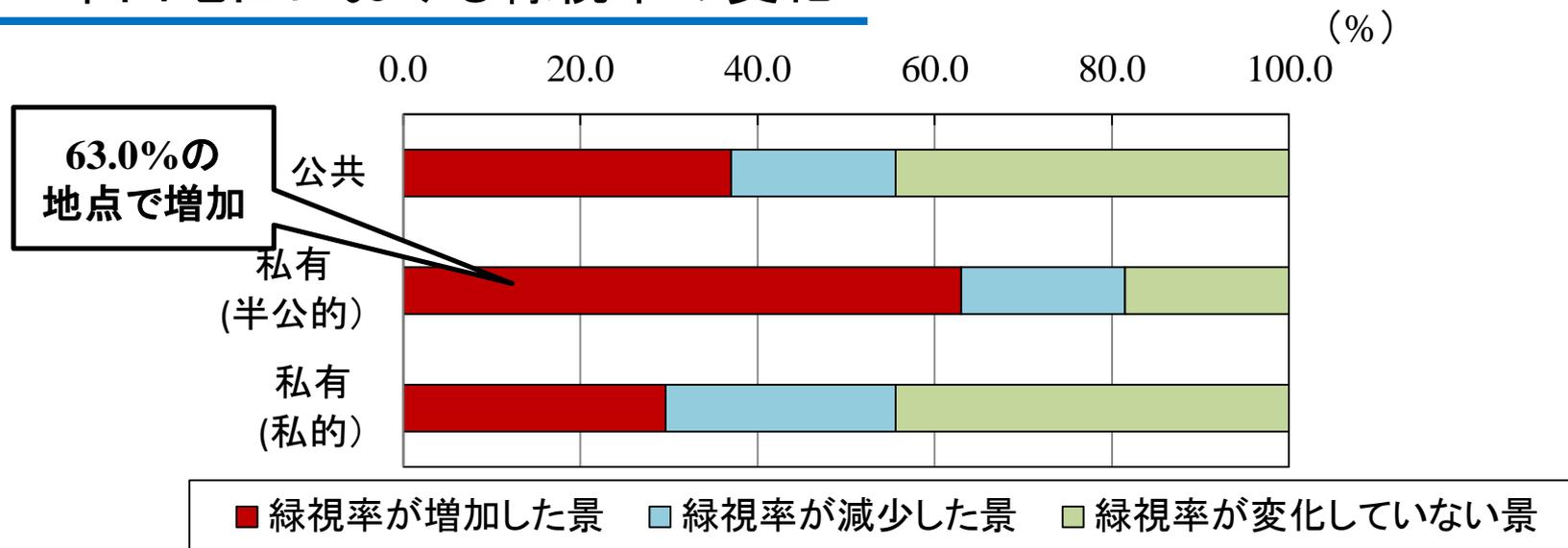
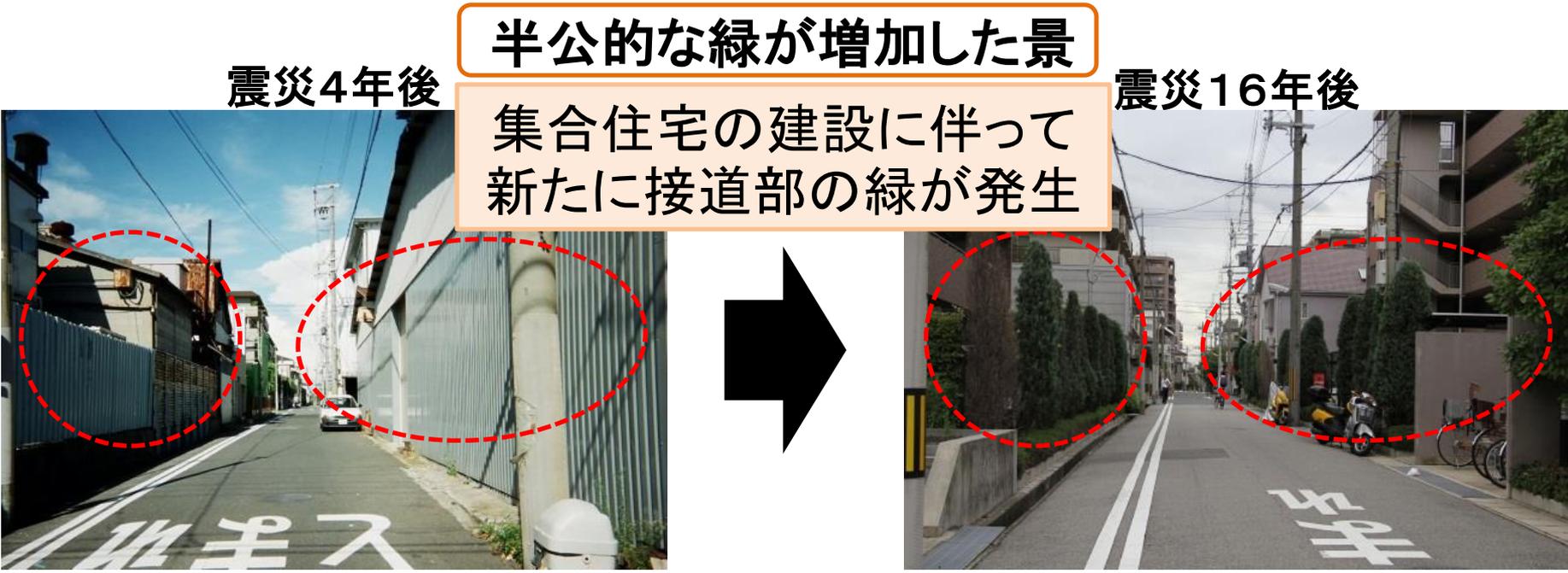
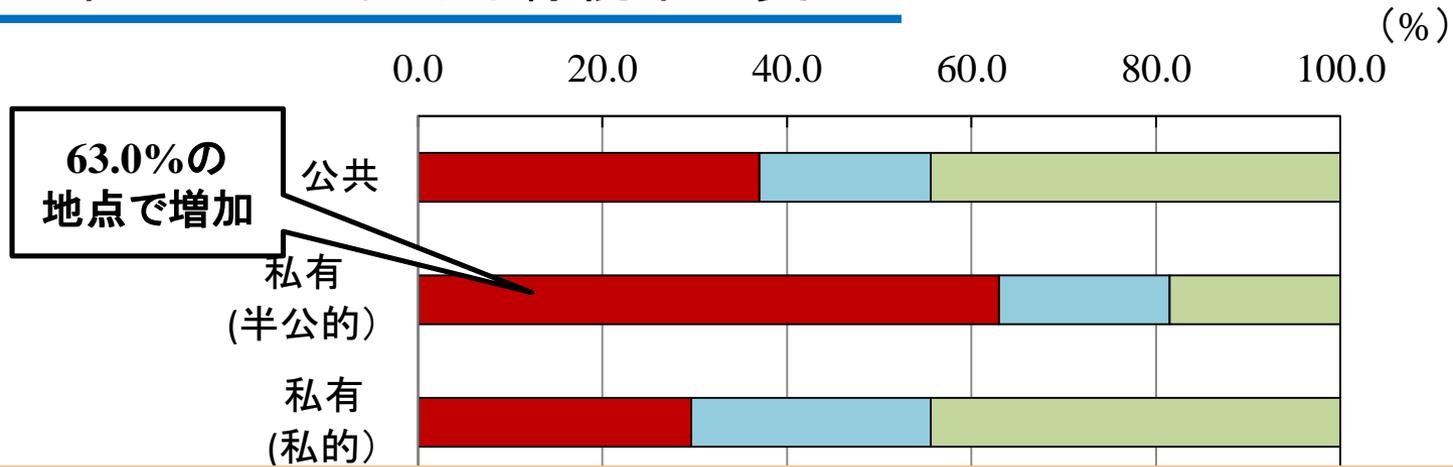


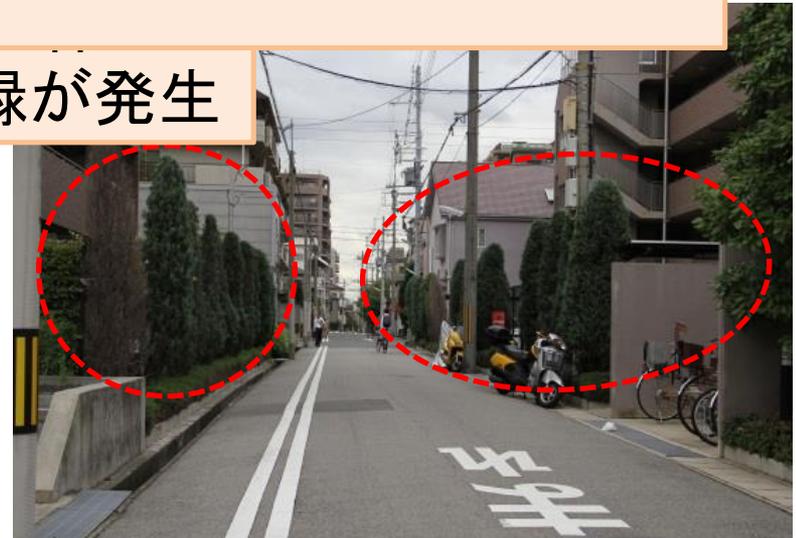
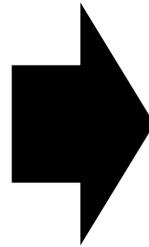
図 本山地区における緑視率の増減別景数割合



第3章 本山地区における緑視率の変化



私有地の半公的な緑が、多くの地点で増加しており、街路景観が豊かになっている。



第3章 森南地区における緑視率の変化

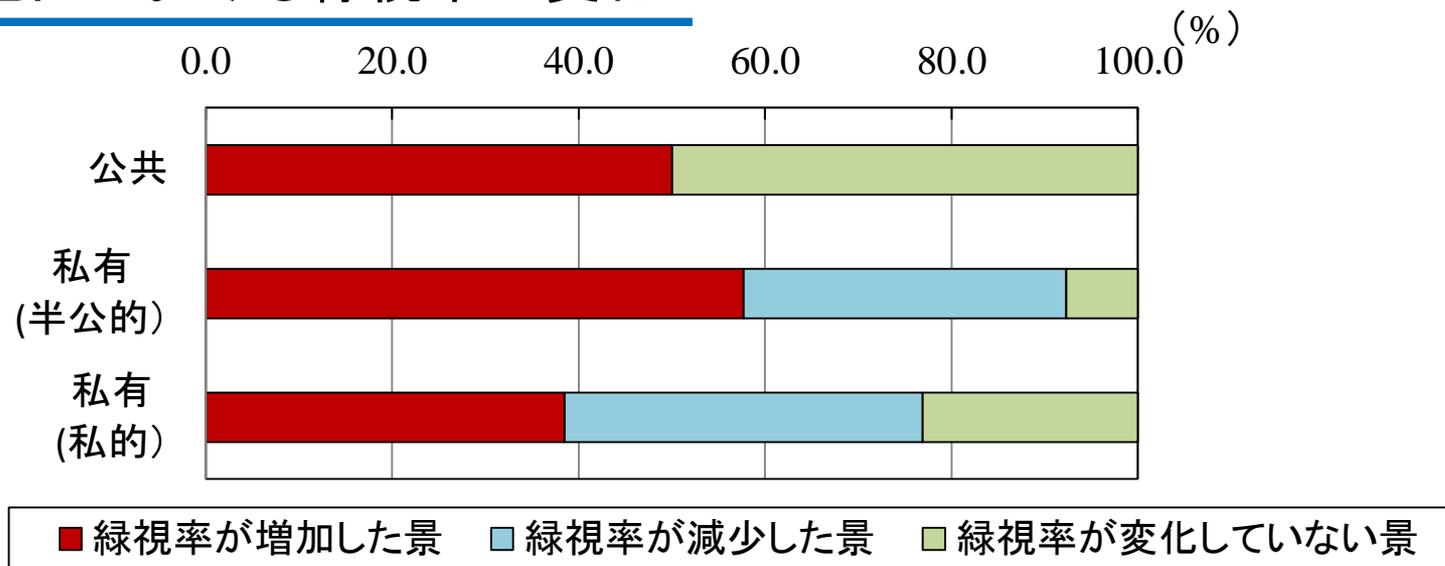
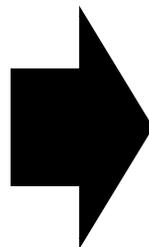


図 森南地区における緑視率の増減別景数割合

公共の緑が増加した景

震災4年後



震災16年後



第3章 森南地区における緑視率の変化

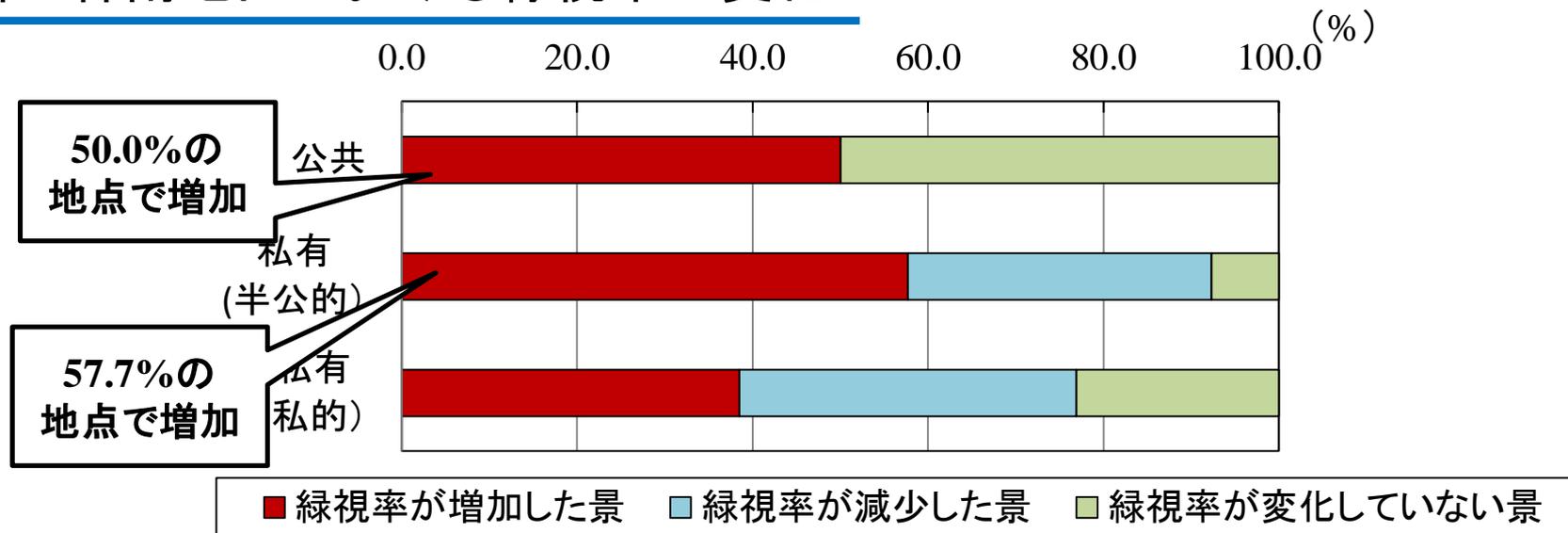
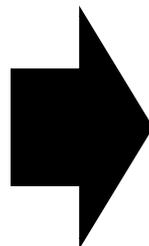


図 森南地区における緑視率の増減別景数割合

公共の緑が増加した景

震災4年後



震災16年後



第3章 森南地区における緑視率の変化

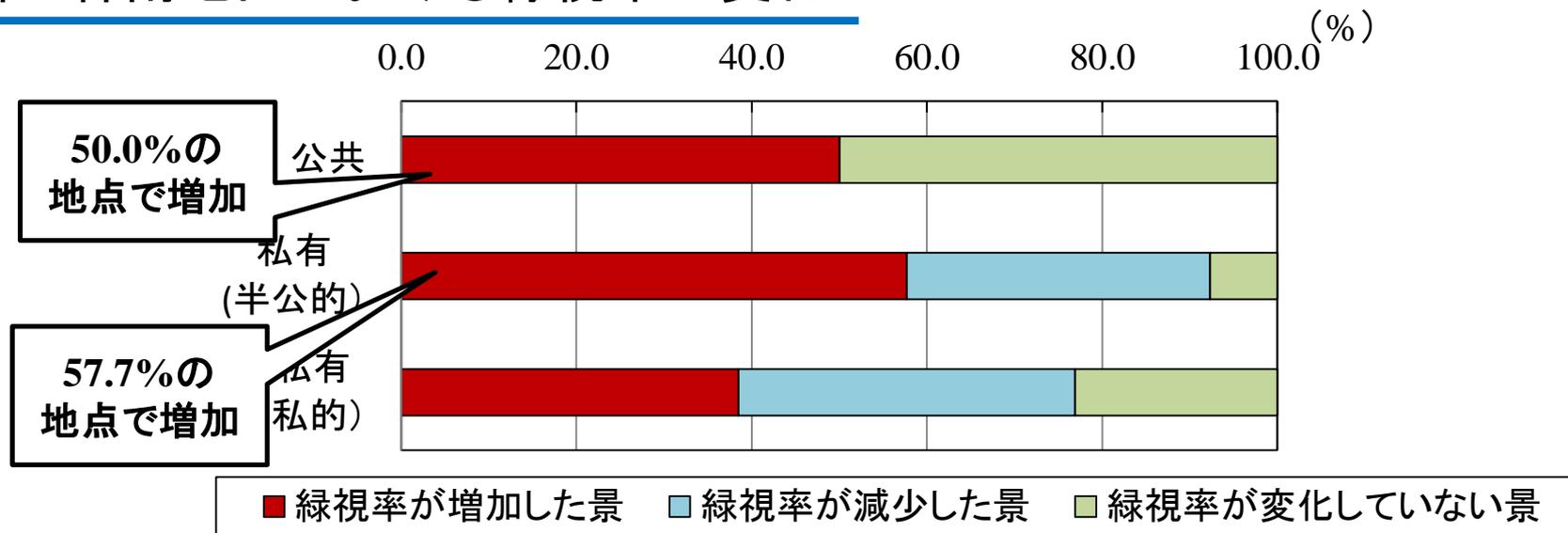
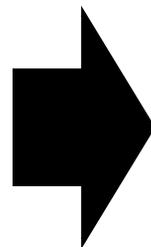


図 森南地区における緑視率の増減別景数割合

公共の緑が増加した景

震災4年後



震災16年後



駅前広場の整備により新たな緑が発生

第3章 森南地区における緑視率の変化

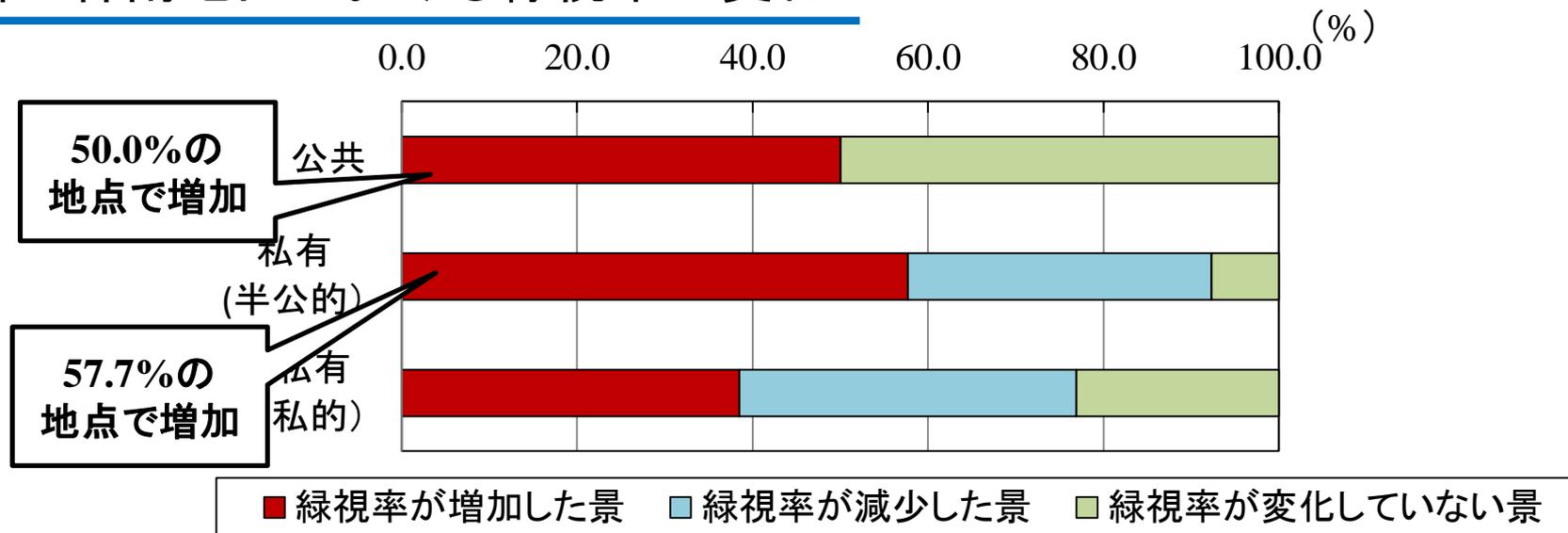
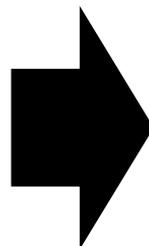


図 森南地区における緑視率の増減別景数割合

半公的な緑が増加した景

震災4年後



震災16年後



第3章 森南地区における緑視率の変化

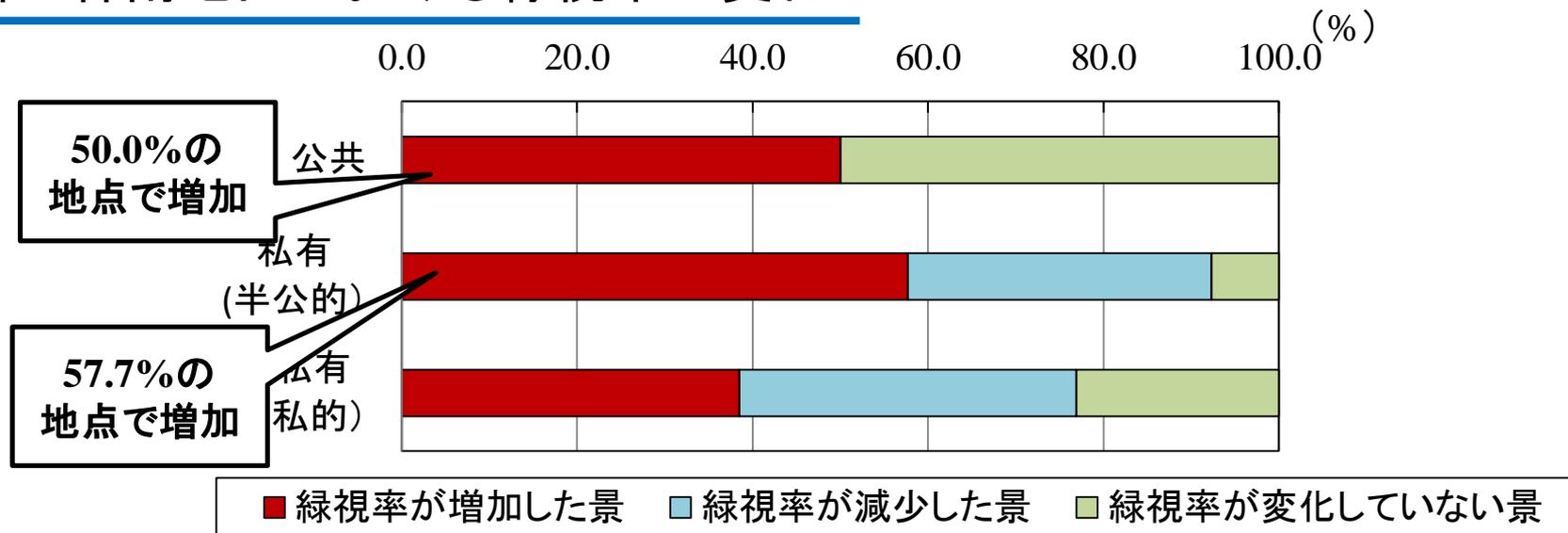
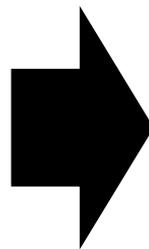


図 森南地区における緑視率の増減別景数割合

半公的な緑が増加した景

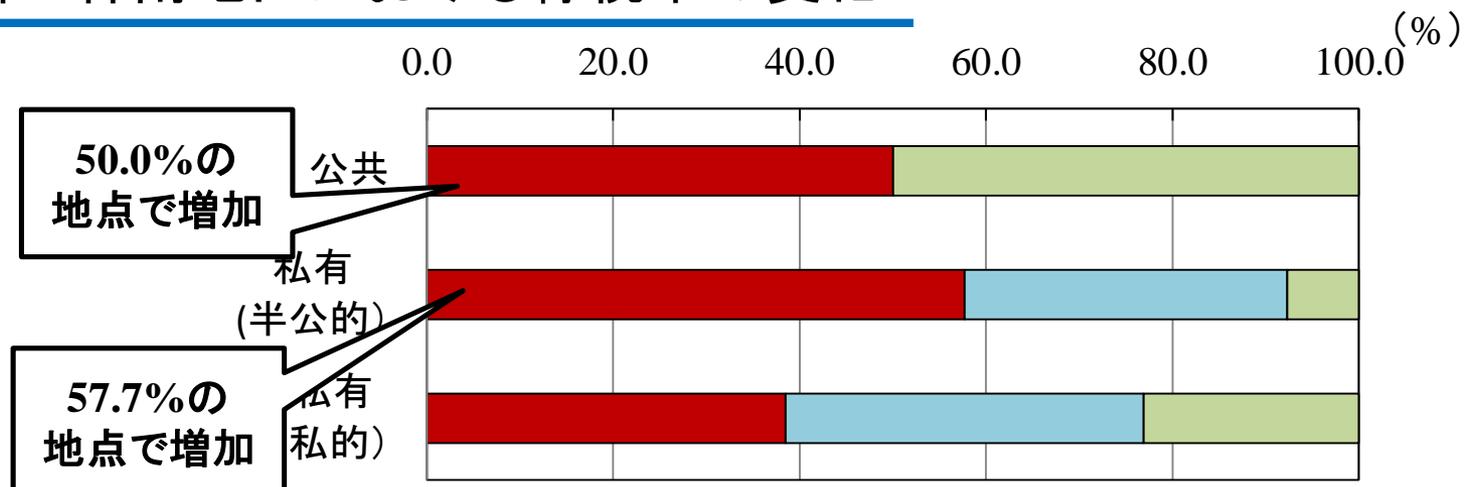
震災4年後

震災16年後



独立住宅の接道部の緑が成長

第3章 森南地区における緑視率の変化



公共の緑が顕著に増加しており、私有地の半公的な緑も、多くの地点で増加している。



都市基盤

人口総数は、4地区とも震災前の状態に回復しているものの、高齢化率からみると、居住者の入れ替わりが起こったと考えられる。住宅棟数は、狭小住宅の建て替えなどに伴って、4地区とも震災前の8～9割となり、特に本山、森南地区では住宅の共同化がみられた。幅員4m未満道路の解消などもみられ、都市基盤の面からみたまちの復興は終わったと考えられる。



緑環境

最も緑被率の高い楠丘地区でも震災前の約8割であり、本山、森南、本庄地区では震災前の約5～6割にとどまっている。公共の緑は、震災及び震災後の復興過程において、大きな変化はみられない。私有の緑は、震災及び震災後の復興過程において大きく変化しており、震災後のランドスケープ再生に際して、影響が大きい。



以上のことから...

公共の緑は、震災の影響を受けない、永続性のある安定した緑として重要である。

私有地の半公的な緑は、徐々に成熟し、安定しつつあるが、私的な緑は未成熟であり、今後、街路から捉えられるまで成熟させることが、今後のランドスケープ再生において重要な課題であるといえる。